



学校用電子ピアノ

**SEP-3000**

## 取扱説明書

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、  
本書をよくお読みになってからご使用ください。  
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管して  
いただきますようお願いします。  
ご使用の前に必ず4～8ページの「安全上のご注意」をお読みください。

### キーボードスタンドの組み立て方

キーボードスタンドの組み立て方については、  
この取扱説明書の11ページをご覧ください。



JA

## 取扱説明書について

この楽器の取扱説明書は、以下のように構成されています。

### ■冊子マニュアル



#### 取扱説明書(本書)

この楽器の使い方を説明しています。



#### かんたん操作ガイド

基本的な操作を説明しています。

### ■電子マニュアル(PDF形式)



#### MIDIリファレンス(ウェブサイトからダウンロード)

MIDIデータフォーマットやMIDIインプリメンテーションチャートなど、MIDIに関する資料が掲載されています。



#### コンピューターとつなぐ

この楽器とコンピューターを接続する方法や、データを送受信する方法などを説明しています。

上記マニュアルは、ヤマハのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、モデル名「SEP-3000」を入力して検索してください。

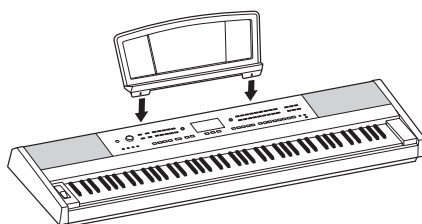
ヤマハ ダウンロード <http://download.yamaha.com/jp/>

### 付属品(お確かめください)

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書)      | <input type="checkbox"/> 保証書          |
| <input type="checkbox"/> 譜面立て           | <input type="checkbox"/> かんたん操作ガイド1、2 |
| <input type="checkbox"/> 電源アダプター        | <input type="checkbox"/> イス           |
| <input type="checkbox"/> 専用スタンド(11ページ)  | <input type="checkbox"/> 防振テープ(14ページ) |
| <input type="checkbox"/> ペダルユニット(14ページ) |                                       |

### 譜面立ての取り付け方

図のように楽器のスロットに譜面立てを差し込みます。



# 目次

取扱説明書について .....	2
付属品(お確かめください) .....	2
譜面立ての取り付け方 .....	2
安全上のご注意 .....	4
対応フォーマットと機能 .....	9
SEP-3000の特長 .....	10
<b>キーボードスタンド/ペダルの組み立て方</b> .....	<b>11</b>
キーボードスタンドの組み立て方 .....	11
ペダルユニットの組み立て方 .....	14
<b>各部の名前と機能</b> .....	<b>16</b>
<b>画面表示について</b> .....	<b>18</b>
<b>ご使用前の準備</b> .....	<b>19</b>
電源の準備 .....	19
ヘッドフォン/外部スピーカーを使う .....	19
ペダルユニットを使う .....	19
フットスイッチを使う .....	20
エクスプレッションペダルを使う .....	20
電源を入れる/切る .....	20
<b>いろいろな音色で弾いてみよう</b> .....	<b>21</b>
音色を選んでみよう .....	21
いろいろな音色で弾いてみよう .....	22
2つの音色を重ねて弾いてみよう(デュアル) .....	24
左手と右手で違う音色を弾いてみよう(スプリット) .....	25
ワンダーランドキットで遊ぼう .....	26
<b>スタイルを使って弾いてみよう</b> .....	<b>27</b>
スタイルのリズムを選んで鳴らしてみよう .....	27
スタイルに合わせて演奏してみよう .....	28
コードの押さえ方 .....	30
スタイルを使いこなそう .....	31
<b>便利な機能</b> .....	<b>32</b>
鍵盤を弾く強さで音量を変える(タッチレスポンス) .....	32
音の高さを変える(移調: トランスポーズ) .....	32
音の高さを微調整する(チューニング) .....	32
ポルタメントを使う .....	32
ピッチベンドを使う .....	33
リバーブ(残響)効果を加える .....	33
サステイン(余韻)をつける .....	33
コーラス効果をつける .....	34
ハーモニー効果を付ける .....	34

<b>演奏を録音しよう</b> .....	<b>35</b>
録音する .....	35
トラックを選んで録音する .....	36
ユーザーソングを消去する .....	37
<b>ソングを鳴らしてみよう</b> .....	<b>38</b>
ソングを選んで聞く .....	38
ソングの再生をコントロールする .....	39
<b>機能設定</b> .....	<b>41</b>
<b>好みのパネル設定を記録しよう (レジストレーションメモリー)</b> .....	<b>45</b>
パネル設定をレジストレーションに記録する .....	45
記録したパネル設定を呼び出す .....	46
<b>USBフラッシュメモリーを使う</b> .....	<b>47</b>
USBフラッシュメモリーを接続する .....	47
USBフラッシュメモリーの使い方(ファイル操作) .....	48
<b>コンピューターとデータを送受信する</b> .....	<b>55</b>
コンピューターと接続する .....	55
演奏情報を送受信する .....	56
ミュージックソフトダウンローダーを使って データを送受信する .....	56
<b>バックアップと初期化</b> .....	<b>57</b>
バックアップデータ .....	57
初期化 .....	57

## 付録

音色リスト .....	58
ドラムキットリスト .....	61
スタイルリスト .....	65
エフェクトタイプリスト .....	66
メッセージリスト .....	67
困ったときは .....	68
仕様一覧 .....	69
索引 .....	70

# 安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 電源アダプターについて



**警告**



禁止

ヤマハ製電子楽器以外に使用しない。

電源アダプターは、ヤマハ製電子楽器専用です。他の用途には、ご使用にならないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。



禁止

電源アダプターは、室内専用のため屋外及び水滴のかかる環境では、使用しない。また、水の入った物、花瓶などを機器の上に置かない。内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



**注意**



必ず実行

製品は電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 警告

### 電源 / 電源アダプター



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの (69 ページ) を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

### 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

### 火に注意



禁止

本体の上ろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

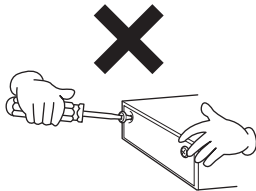
### 分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



### 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

# ⚠ 注意

## 電源 / 電源アダプター



禁止

たこ足配線をしない。

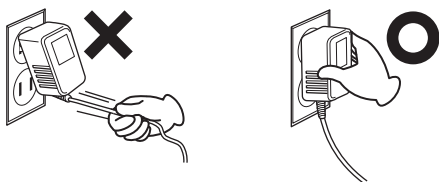
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

## 組み立て



必ず実行

本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。

手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

## 設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかがをしったりする原因になります。



必ず実行

この製品を持ち運ぶ場合は、必ず2人以上で行なう。

この製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々がかがをしったりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手が届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

## 接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。また、指などをはさまないように注意する。

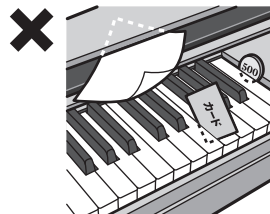
お客様がかがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。





禁止

本体の上にとったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



## イス



禁止

不安定な場所に置かない。

イスが転倒して、お客様やほかの方々がけがをする原因になります。



禁止

イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



禁止

イスには二人以上ですわらない。

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



必ず実行

小さなお子様の後方への転倒に注意する。

背もたれがないため、後方へ転倒してけがをするおそれがあります。

●データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ](スタンバイ / オン) スイッチを切った状態 (画面表示が消えている) でも微電流が流れています。[Ⓛ](スタンバイ / オン) スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

DMI-6 4/4

## 注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話などの電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPad、iPhone、iPod touchのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため iPad、iPhone、iPod touchの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- ・ 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

### ■ 製品のお手入れに関する注意

- ・ 手入れするときは、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・ 極端に湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

### ■ データの保存に関する注意

- ・ この楽器の一部のデータ(57ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリー / コンピューターなどの外部機器に保存してください(48、56ページ)。USBフラッシュメモリーを使う前には、必ず47ページをお読みください。
- ・ 保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリー / コンピューターなどの外部機器にバックアップとして保存されることをおすすめします。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- ・ ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。  
※上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。  
※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ iPad、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

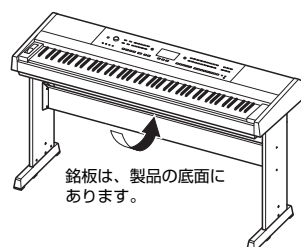
機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

---

製造番号

---



(bottom\_ja\_02)

## 対応フォーマットと機能

---



### GMシステムレベル1

メーカーや機種が異なる音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音色配列やMIDI機能に関する音源フォーマットです。



### XGライト

ヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただしXGliteではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので「XG」のソングデータが元データと異なって聞こえる場合があります。



### スタイルファイルフォーマット(SFF)

「スタイルファイルフォーマット(SFF)」とは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した、伴奏スタイルに関するフォーマットです。



### ステレオサンプリングピアノ

最新のAWM(Advanced Wave memory)技術を使ってサンプリングしたグランドピアノの音色を内蔵、リアルで重厚な響きを実現しました。



### タッチレスポンス

弾く強さに応じて鍵盤の演奏音に強弱が付けられる機能です。



### USB

コンピューターと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。

## SEP-3000の特長

### わかりやすい表示と簡単操作

日本語表記の操作パネルとカタカナ表示によるディスプレイで、小学校低学年の児童でも操作しやすいデザインです。また、音色名やスタイル(リズム)名のボタンを押すだけで目的の音色やスタイルが最適な設定で呼び出せるダイレクトセレクトスイッチ機能により、操作に迷うことはありません。

.....

### グランドピアノと同様、88鍵盤と3本ペダルを装備

グランドピアノと同じ88鍵フルスケール。どんなピアノ曲も弾くことができ演奏のレパートリーが広がります。またペダルはハーフペダルに対応。ペダルの踏み加減で音の伸びぐあいを調節できます。

.....

### 豊富な音色とスタイルを搭載

ヤマハ独自の「AWMステレオサンプリング音源」を搭載。多彩な楽器音や効果音など671音色を内蔵しています。さらに演奏を華やかに演出するスタイル(自動伴奏)を160種類内蔵し、さまざまなジャンルのリズムに合わせた演奏がお楽しみいただけます。

.....

### 演奏の録音/再生/保存が可能

ご自分の演奏を楽器に保存できます。また、USB端子を搭載しているので、演奏データをUSBフラッシュメモリーに保存(SMF)したり、コンピューターと演奏データをやりとりをしたり、さらにXGlite対応<sup>(\*)1)</sup>の電子楽器と演奏データを簡単にやりとりできます。

<sup>(\*)1</sup> : 「XGlite」は「XG」の簡易版です。「XGlite」でコントロールできるパラメーターやエフェクトに制限があるため「XG」のソングデータを再生した際、元のデータと異なって聞こえる場合があります。

.....

### 演奏を楽しむ多彩な機能

メトロノームや録音機能に加え、鍵盤を左右に2つに分け2人で演奏できる機能(デュオボイス)や、音色やリバーブ(残響効果)などのパネル設定を保存して、ワンタッチで呼び出すことができるレジストレーションメモリーなど、演奏時に便利な機能を搭載しています。

.....

# キーボードスタンド/ペダルの組み立て方

## 安全上のご注意

組立作業、およびご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

### ⚠ 注意

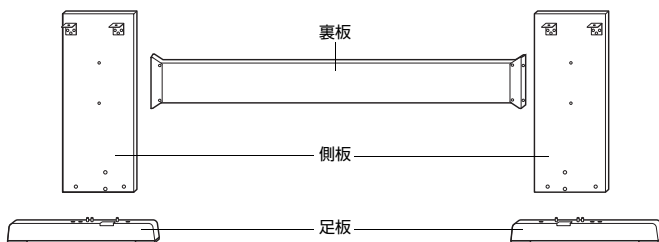
- 部品をまちがえたり、向きをまちがえたりしないように注意をして、手順どおりに組み立てる。
- 組み立ては、必ず2人以上で行なう。
- 部品の取り付けは、必ず付属のネジを使用する。  
付属のネジ以外を使用すると、他の部品を傷つけることがあります。
- スタンド/キーボードは、組み立てが完了した状態で使用する。  
未完成の状態で使用すると、キーボードが落ちたり、スタンドが転倒したりして危険です。
- 傾斜地や不安定な場所に設置しない。  
スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- 指定のキーボード以外の目的で使用しない。  
指定のキーボード以外のものは取り付けられません。また、指定のキーボード以外のものをのせたり、スタンドにもたれ掛かったりすると、のせているものが落ちたり、スタンドが転倒したりして危険です。
- スタンドの上のキーボードに必要な以上の力を加えない。  
スタンドが転倒したりして危険です。
- ペダルユニットは、指定のスタンドに組み付けた状態で使用する。  
組み付けるとき、楽器を机の上などに置くときは、故障の原因になりますのでペダルユニットのコードを楽器から抜いてください。
- 使用前に安全点検をする。  
使用する前に、ネジが確実に締まっているか、必ず確認してください。ネジがゆるんでいると、スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- ペダルユニットを解体するときは、組み立てと逆の手順で行なう。

ネジのサイズに合ったプラス(+ )のドライバーを用意します。

## キーボードスタンドの組み立て方

- 1 すべての部品を取り出し、下記イラストの部品がそろっているかどうかを確認します。組み立て手順に従って必要な部品を使用します。

### 1 組み立て部品



1 ジョイントコネクター × 4

2 6×70 mm  
ネジ(頭丸)×4

3 6×30 mm  
ネジ(頭丸)×4

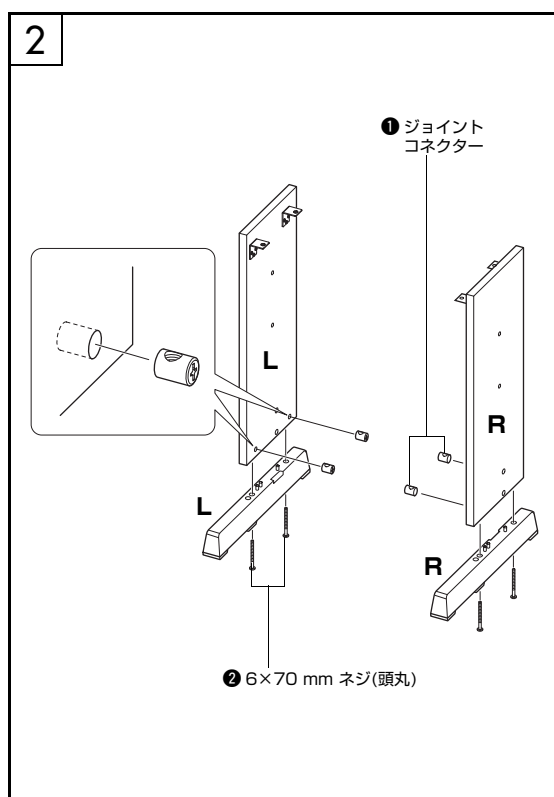
4 補強レール

5 4×45 mm  
平たいネジ×6

6 5×16 mm  
ネジ(頭丸)×4



床や楽器を保護するため、組み立て時はシートをご使用ください。  
\* 楽器を包んでいる袋



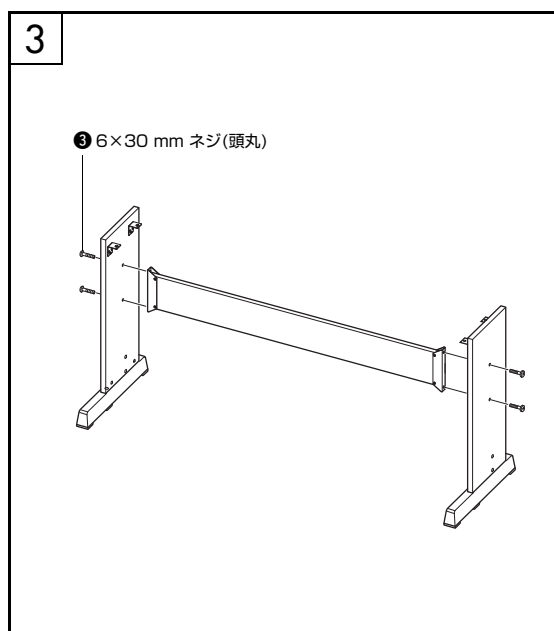
## 2 左右の足板を側板に固定します。

①のジョイントコネクターを左右の側板に差し込みます。ジョイントコネクターはネジ頭が外から見える方向に差し込みます。

### NOTE

- 差し込んだジョイントコネクターを取り出したい場合は、穴の周囲を軽く叩きます。

足板の前後を確認して②のネジで固定します。ジョイントコネクターにネジがうまく入らない場合は、ドライバーを使用してジョイントコネクターを回転させ、ジョイントコネクターにある穴の向きを、ネジの入る向きに合わせます。



## 3 裏板を固定します。

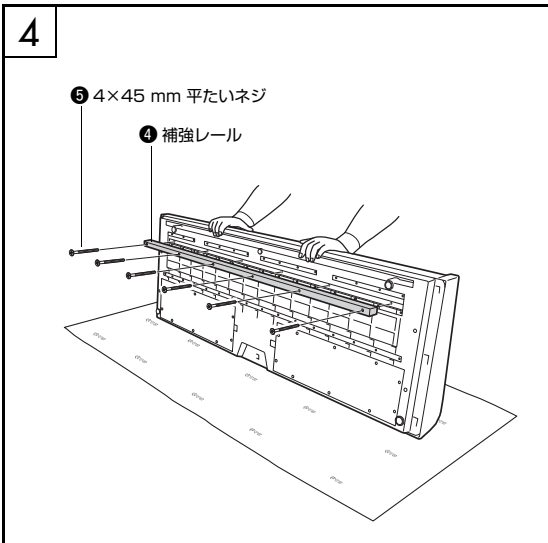
裏板を③のネジで固定します。化粧なしのほうを下側に向け、側板の前後の向きを確認してから取り付けてください。

### 注意

- 裏板を落としたり、金具部分にふれたりしてけがをしないように注意してください。

### ペダルユニットの取り付け

ペダルユニットを取り付ける場合は、次の手順に進む前に、ペダルユニットを取り付けてください。ペダルユニットの組み立ては14ページをご覧ください。

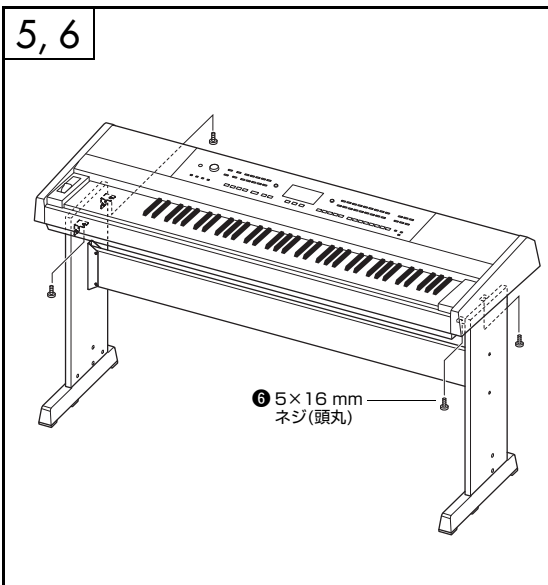


#### 4 補強レールを取り付けます。

シートを床に広げます。背面側を下にして、楽器をシートの上に置きます。④の補強レールを本体底面の溝に合わせ、⑤のネジで固定します。

##### NOTE

- ・シートがない場合は、床や楽器を保護するために、厚めの毛布などの柔らかい布をご用意ください。



#### 5 注意して楽器をスタンドにのせます。

スタンドを前後の向きを確認して、金具の穴と楽器の下側の穴が合うように、ゆっくりと楽器の位置を調節してください。

##### 注意

- ・指をはさんだり、楽器を落としたりしないよう、十分ご注意ください。

#### 6 楽器をスタンドに固定します。

⑥のネジで楽器を固定します。

#### 組み立てチェックリスト

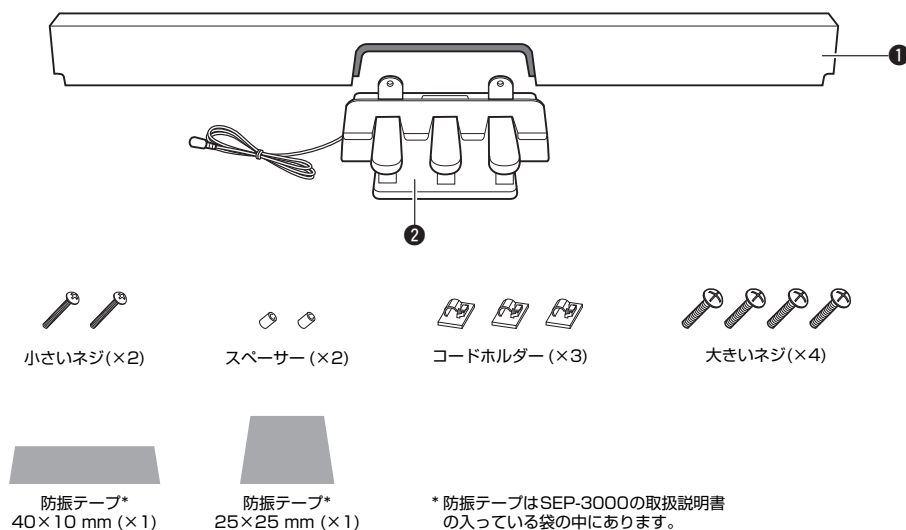
組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- |   |                     |
|---|---------------------|
| <input type="checkbox"/> 部品が余っていませんか？   | →組み立て手順を再度確認してください。 |
| <input type="checkbox"/> 部屋のドアなどにあたりませんか？   | →あたらない位置に移動してください。  |
| <input type="checkbox"/> 楽器/スタンドがゆれませんか？  | →ネジを確実に締めてください。     |
| <input type="checkbox"/> 使用中に楽器がきしむ、横ゆれする、グラつくなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。 |                     |

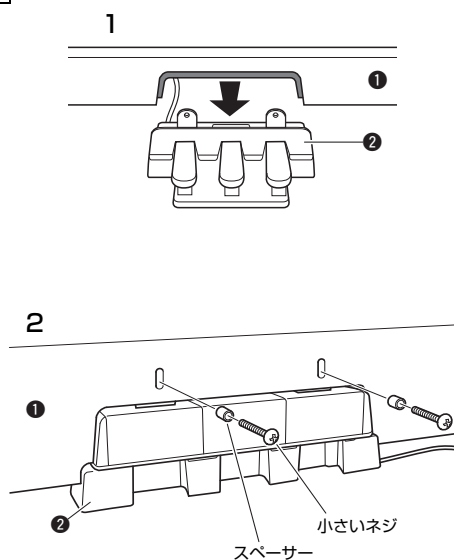
## ペダルユニットの組み立て方

- 1 すべての部品を取り出し、下記イラストの部品がそろっているかどうかを確認します。組み立て手順に従って必要な部品を使用します。

### 1 組み立て部品

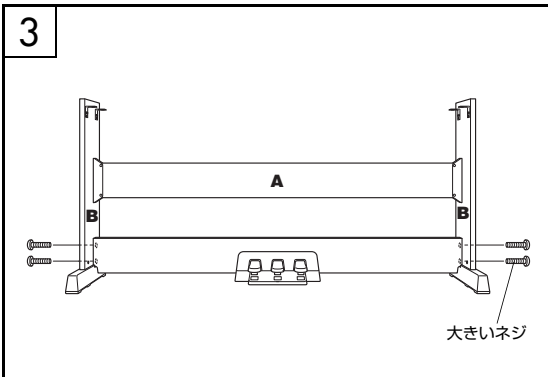


### 2



### 2 ①を②に取り付けます。

- 2-1 ①中央のくぼみの黒い縁を手前にして、②にはめ込みます。
- 2-2 小さいネジをスペーサーに通し、このネジで①の裏側から②を仮留めします。

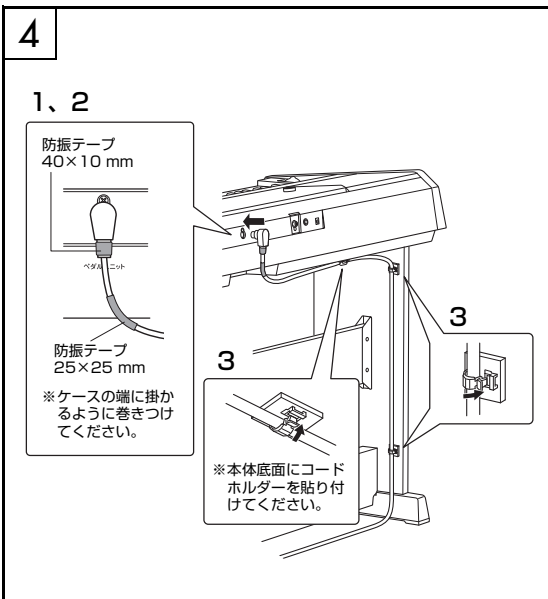


### 3 ペダルユニットをスタンドに固定します。

スタンド**B**にペダルユニットを大きいネジで取り付けます。

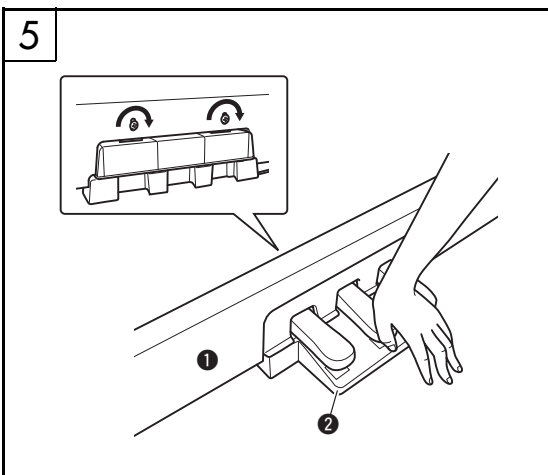
#### NOTE

- ペダルユニットをスタンドにはめ込みにくい場合は、スタンド**A**を固定しているネジを少しゆるめてください。ペダルユニットをスタンドにはめこんだあとは、ふたたびネジを締め直してスタンド**A**を固定してください。



### 4 ペダルコードのプラグを楽器に接続します。

- 4-1 防振テープのセパレータを剥がして、イラストのようにペダルコードに巻きつけてください。
- 4-2 ペダルコードのプラグを楽器背面の[ペダルユニット]端子に差し込みます。
- 4-3 コードホルダーを貼り付け、ペダルコードを固定します。

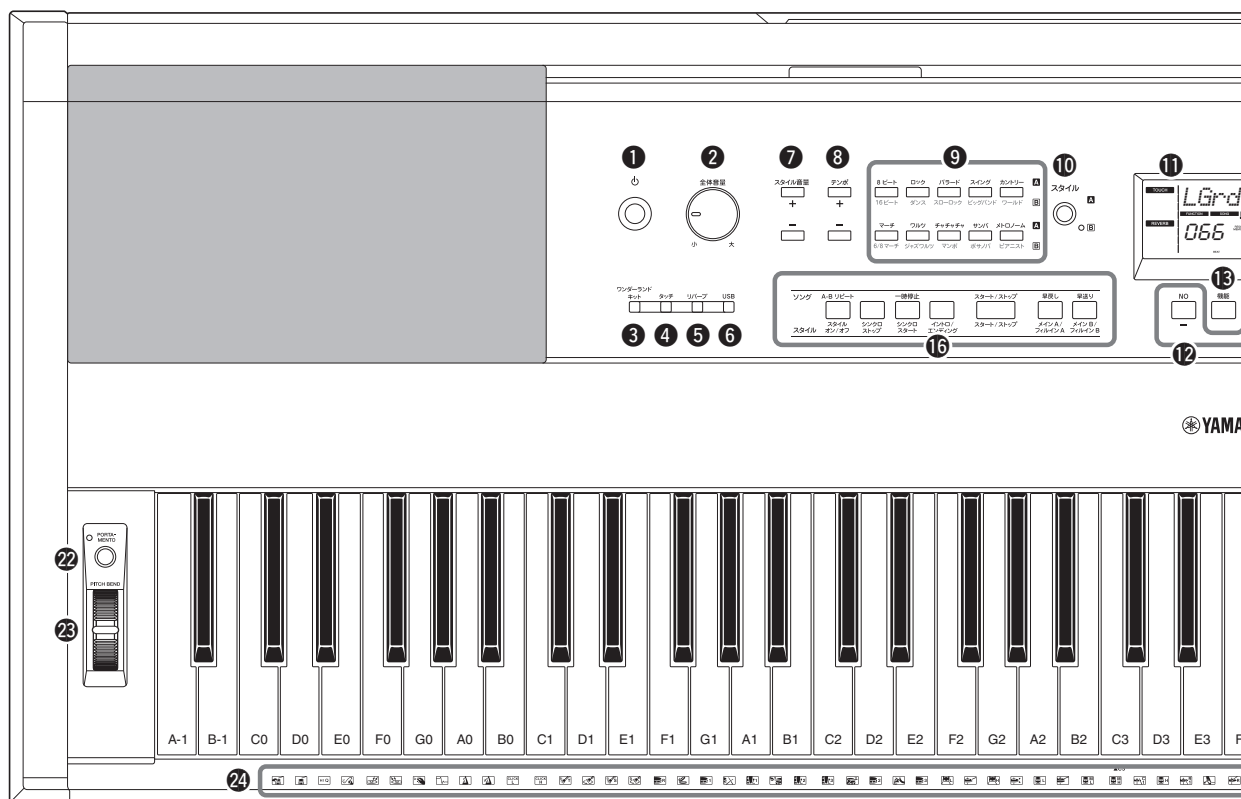


### 5 ②を固定する。

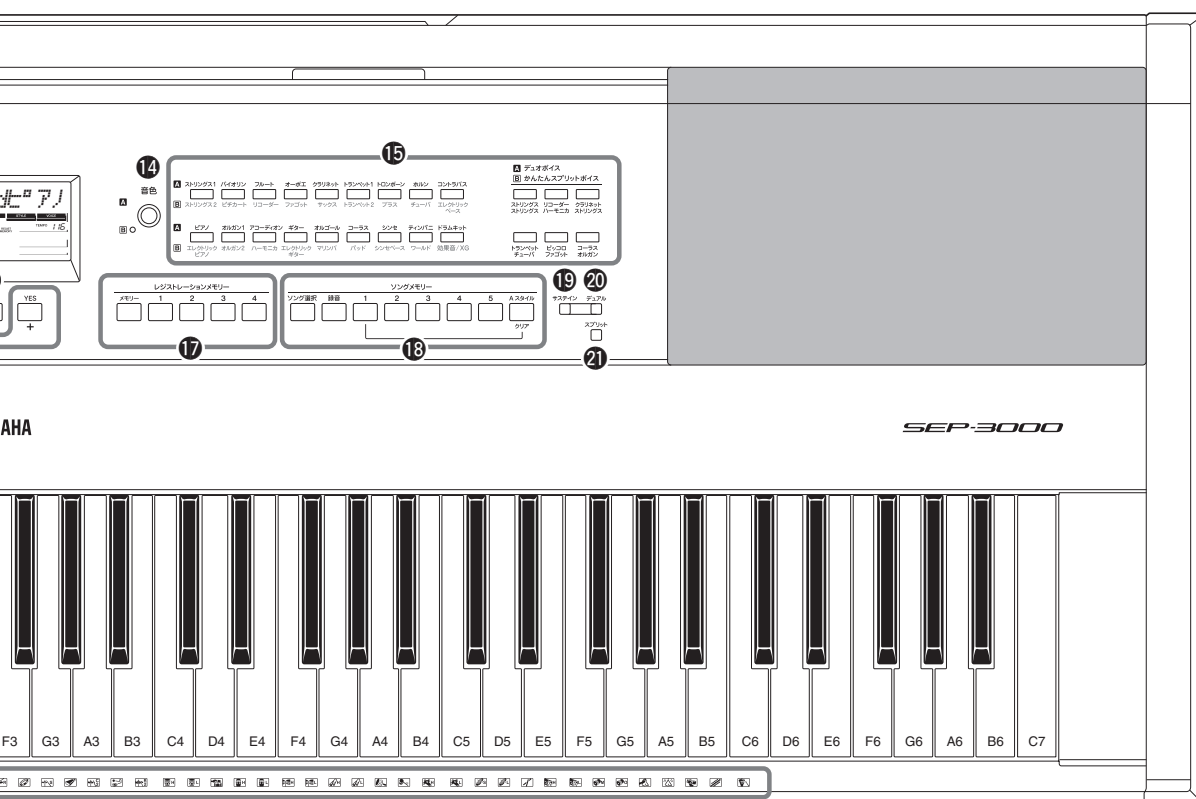
楽器を配置したい場所へ移動した後、②が床にぴったりつくようにペダルを押さえながら手順2-2で仮留めたネジをきつく締めます。

# 各部の名前と機能

## フロントパネル

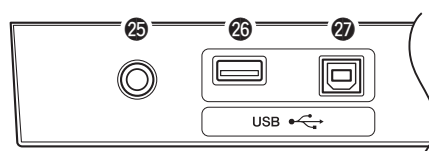


- ① [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ ..... 20 ページ  
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。
- ② [全体音量] ダイアル ..... 20 ページ  
音量を調節します。
- ③ [ワンダーランドキット] ボタン ..... 26 ページ  
鍵盤を弾くと打楽器音や動物の鳴き声などが鳴る「ワンダーランドキット」が音色に選ばれます。
- ④ [タッチ] ボタン ..... 32 ページ  
タッチレスポンスのオン/オフを切り替えます。
- ⑤ [リバーブ] ボタン ..... 33 ページ  
リバーブ(残響)のオン/オフを切り替えます。
- ⑥ [USB] ボタン ..... 38、48 ページ  
USB フラッシュメモリー内の曲の再生やデータのやり取りをします。
- ⑦ スタイル音量[+]、[-] ボタン ..... 29 ページ  
スタイルの音量を調節します。
- ⑧ テンポ[+]、[-] ボタン ..... 29、40 ページ  
ソングやスタイルのテンポを調節します。
- ⑨ スタイルカテゴリボタン ..... 27 ページ  
スタイルのカテゴリを選びます。
- ⑩ [スタイル] ボタン ..... 27 ページ  
スタイルのカテゴリグループを切り替えます。
- ⑪ 画面 ..... 18 ページ  
楽器の設定状態を表示します。
- ⑫ [-/NO]、[+ /YES] ボタン ..... 41 ページ  
項目を選んだり値を設定したりします。
- ⑬ [機能] ボタン ..... 41 ページ  
機能設定画面を呼び出し、設定します。
- ⑭ [音色] ボタン ..... 21 ページ  
音色のカテゴリグループを切り替えます。
- ⑮ 音色カテゴリボタン ..... 21 ページ  
音色のカテゴリを選びます。
- ⑯ ソング/スタイルコントロールボタン  
ソング/スタイルの再生をコントロールします。  
ソングを選んだとき、ボタンの上に  
印刷された機能になります。..... 39 ページ  
スタイルを選んだとき、ボタンの下  
に印刷された機能になります。..... 27、31 ページ
- ⑰ レジストレーションメモリーボタン ..... 45 ページ  
パネルの設定状態を登録/呼び出しします。
- ⑱ ソングメモリーボタン ..... 35、38 ページ  
演奏を録音します。また、ソングを選択したり、ト  
ラックをミュートしたりするときも使います。
- ⑲ [サステイン] ボタン ..... 33 ページ  
音にサステイン(余韻)を付けます。
- ⑳ [デュアル] ボタン ..... 24 ページ  
2つの音色を重ねます。
- ㉑ [スプリット] ボタン ..... 25 ページ  
鍵盤を左手側と右手側の2つに分け、別々の音色で演  
奏します。

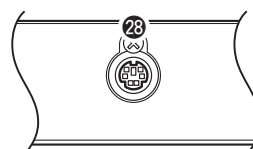


- 22 [ポルタメント] (PORTAMENTO) ボタン ..... 32ページ  
ポルタメント(次の音へなめらかに移る)機能をオン/オフします。
- 23 [ピッチベンド] (PITCH BEND) ホイール ..... 33ページ  
鍵盤で弾いた音の高さをなめらかに上下します。
- 24 ドラムキットアイコン ..... 61ページ  
ドラムキット音色の「185 スタンダードキット1」を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器のイラストです。
- 25 [サステイン] 端子 ..... 20ページ  
別売のフットスイッチ (FC5またはFC4A) やフットペダルを接続します。
- 26 USB [TO DEVICE] 端子 ..... 47ページ  
USBフラッシュメモリーを接続します。
- 27 USB [TO HOST] 端子 ..... 55ページ  
この楽器とコンピューターを接続します。
- 28 [ペダルユニット] 端子 ..... 19ページ  
付属されている3本ペダルを接続します。
- 29 [エクスプレッションペダル] 端子 ..... 20ページ  
エクスプレッションペダル (学校用デジタルキーボードSKB-J700に付属のペダルをお持ちの場合) を接続します。
- 30 [ヘッドフォン/アウトプット] 端子 ..... 19ページ  
ヘッドフォン/外部スピーカーを接続します。
- 31 DC IN端子 ..... 19ページ  
付属の電源アダプターを接続します。

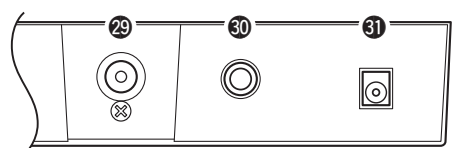
## リアパネル



サステイン TO DEVICE TO HOST



ペダルユニット



エクスプレッションペダル ヘッドフォン/アウトプット 12V 1.5A

# 画面表示について

画面は、ソング、スタイル、音色など基本的な設定状態が表示されます。また、各機能のオン/オフ状態がアイコンなどで表示されます。

<b>TOUCH</b>	タッチレスポンス (32ページ)
<b>HARMONY</b>	ハーモニー (34ページ)
<b>DUAL</b>	デュアル (24ページ)
<b>SPLIT</b>	スプリット (25ページ)
<b>REVERB</b>	リバーブ (33ページ)
<b>SUSTAIN</b>	サステイン (20ページ)
<b>ACMP ON</b>	スタイル (自動伴奏) (28ページ)
<b>SYNC STOP</b>	シンクロストップ (31ページ)

それぞれ該当する機能がオンのとき表示されます。

## 機能 (FUNCTION) (41ページ)

[機能] ボタンを押したときアイコンの下にバーが表示され、機能設定ができます。

## ソング (SONG) (38ページ)

ソングモードのときアイコンの下にバーが表示されます。ソングコントロールボタンで再生をコントロールします。

## スタイル (STYLE) (27ページ)

スタイルモードのときアイコンの下にバーが表示されます。スタイルコントロールボタンで再生をコントロールします。

## 音色 (VOICE) (21ページ)

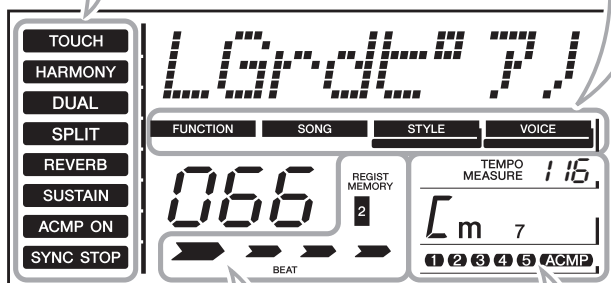
音色を選ぶとアイコンの下にバーが表示されます。

FUNCTION

SONG

STYLE

VOICE



## テンポ (TEMPO)、小節 (MEASURE)

ソングやスタイルのテンポを表示します。再生時にはソングやスタイルの小節番号を表示します。

TEMPO  
MEASURE 00 1

## 機能 (FUNCTION) (41ページ)

機能ボタンを押したとき機能番号を表示します。

00 1

## ビート (拍)

ソングやスタイルのビート (拍) を矢印で点滅表示します。



## レジストレーションメモリー (REGISTRATION MEMORY) (45ページ)

選択されているレジストレーションメモリー番号を表示します。

REGIST  
MEMORY  
2

## USB (48ページ)

USBフラッシュメモリーが接続されたときに表示されます。

USB

## コード (30ページ)

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。

m 7

## ソングトラック (39ページ)

ソングのトラックに関する情報を表示します。

1 2 3 4 5 ACMP

# ご使用前の準備

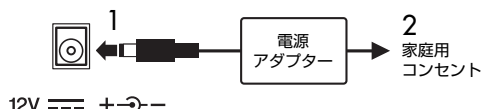
## 電源の準備

- 1 電源アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN端子(17ページ)にさし込みます。

### 警告

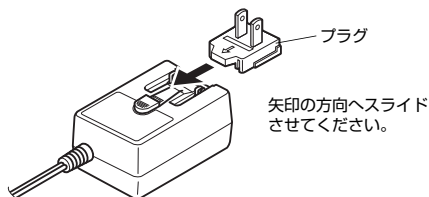
- 電源アダプターは、必ず指定のもの(69ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分にご注意ください。

- 2 電源アダプターのACプラグをコンセント(AC 100V)にさし込みます。



### 警告

- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないように注意して、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。また異物が入らないようにご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。



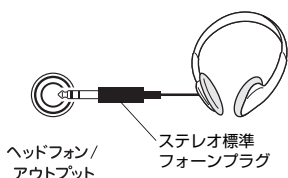
### 注意

- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

## ヘッドホン/外部スピーカーを使う



別売のヘッドホン(ステレオ標準プラグ)を[ヘッドホン/アウトプット]端子に接続します。[ヘッドホン/アウトプット]端子は外部出力端子としてもお使いいただけます。アンプ内蔵スピーカー、コンピューター、キーボードアンプ、レコーダーなどの入力端子に接続すれば、

この楽器のオーディオ音声を外部機器で鳴らすことができます。ヘッドホンや外部機器を接続すると、自動的にこの楽器のスピーカーからは音が出なくなります。

### 注意

- 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

### 注記

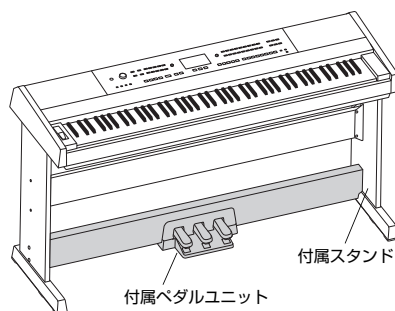
- 楽器本体の音を外部機器に出力するときは、最初に楽器本体、次に外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときはこの逆の順で行なってください。機器の損傷の原因になります。

## ペダルユニットを使う

ペダルユニットを[ペダルユニット]端子に接続すると、3本ペダルを使って演奏できます。ペダルユニットは、必ず付属スタンドに取り付けてお使いください。

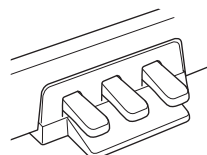
### NOTE

- ペダルユニットを抜きさしする場合は電源を切った状態で行なってください。



### ■ ペダルユニットの機能

ペダルユニットには右のペダル(ダンパーペダル)とまん中ペダル(ソステヌートペダル)、左のペダル(ソフトペダル)があります。これらのペダルはピアノ演奏で使われます。ペダルユニットの効果は、スプリット鍵域にはかかりません。



### 右のペダル(ダンパーペダル)

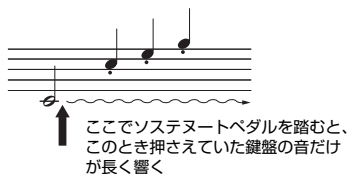
このペダルを踏んでいる間、弾いた音を、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏み込むほど音が長く伸びます(ハーフペダル対応)。

\* フットスイッチとダンパーペダルとの併用時、楽器動作(効果)は後着優先になります。



### まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果は掛かりません。



### 左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくすることができます。ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前に踏みます。

デュオ機能(22ページ)を使っているときは、3本ペダルの機能はダンパー効果になります。ダンパーペダルを踏むと右側鍵域、ソステヌートペダルを踏むと左右の鍵域、ソフトペダルを踏むと左側の鍵域にダンパー効果がかかります。

## フットスイッチを使う



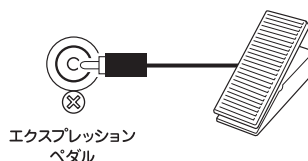
サステイン

別売のフットスイッチ(FC5またはFC4A)をリアパネルの[サステイン]端子に接続するとサステインのオン/オフを足元で切り替えられます。サステインをオンにすると演奏音に自然な余韻が付けられます。

#### NOTE

- [サステイン]端子への抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- フットスイッチを踏んだ状態で電源を入れないでください。フットスイッチのオン/オフ動作が逆になります。
- サステインのオン/オフは、メイン音色およびデュアル音色に機能します。スプリット音色には機能しません。

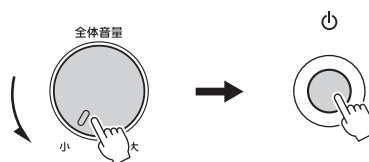
## エクスプレッションペダルを使う



学校用デジタルキーボードSKB-J700に付属のエクスプレッションペダルをお持ちの場合は、リアパネルの[エクスプレッションペダル]端子に接続してご使用できます。ペダルの踏み込み具合で演奏の音量を調節できます。つま先側へ踏み込むほど音量が大きくなり、かかと側へ踏み込むほど音量が小さくなります。

## 電源を入れる/切る

[全体音量]ダイヤルを左に回し、音量を最小にしてから、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。電源が入ると、画面に表示が現れます。鍵盤を弾いて確かめながら、[全体音量]ダイヤルを少しずつ回して音量を上げてください。もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押す(1秒)と電源が切れます。



#### 注意

- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

#### 注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

#### 注記

- 電源を入れるときは、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ以外は操作(鍵盤やボタンを押す、ペダルを踏むなど)しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

#### NOTE

- 音量を最大にして使用した場合、本体から、ビリつく音が発生したり音に歪みが生じたりすることがあります。その場合は[全体音量]ダイヤルを左に回し、音量を下げてご使用ください。

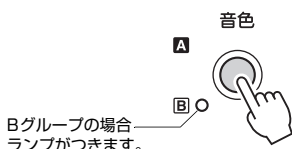
# いろいろな音色で弾いてみよう

この楽器には、ピアノはもちろん、ストリングス、ギター、クラリネットといったいろいろな音色が用意されています。音色名と番号は58ページの音色リストをご覧ください。

## 音色を選んでみよう

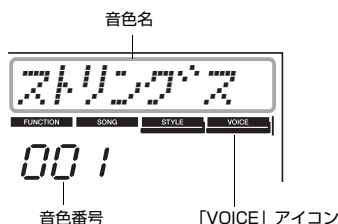
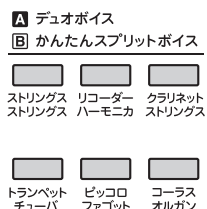
### 1 [音色]ボタンを押してグループ(AまたはB)を選びます。

Aグループの音色名は各ボタンの上側に、Bグループの音色名は下側に印刷されています。[音色]ボタンを押すたびにAグループとBグループが切り替わります。



### 2 選みたい音色のカテゴリーボタンを押します。

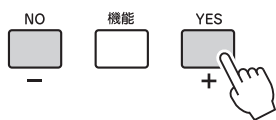
カテゴリー内の音色が呼び出されます。



#### NOTE

- 音色のカテゴリーボタンを押すと、前回そのカテゴリーで選んだ音色が呼び出されます。カテゴリー先頭の音を呼び出すには[－/NO]ボタンと[＋/YES]ボタンを同時に押します。

### 3 [－/NO]と[＋/YES]ボタンを押して、音色カテゴリー内の音色を指定します。



#### NOTE

- 「デュオボイス」と「かんたんスプリットボイス」はカテゴリー内の音色は変わりません。

### 4 弾いてみましょう。

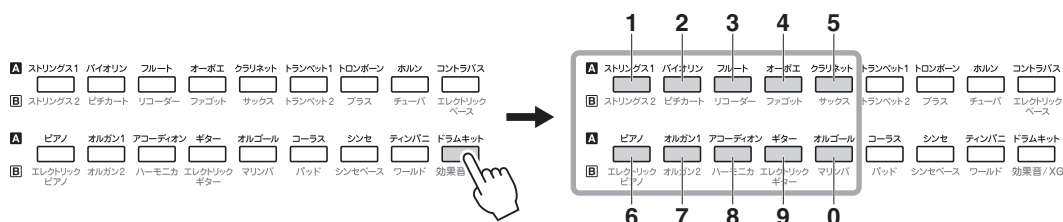


#### NOTE

- メトロノームに合わせて演奏したい場合は、スタイルの[メトロノーム]を選んで再生します(28ページ)

## 音色番号を直接指定して音色を選ぶ

画面に「VoiceNo.on」と表示されるまで[ドラムキット]ボタン(音色カテゴリーボタンの一番下の右端)を押したままにします。表示されたら、音色カテゴリーボタンは数字入力ボタンに変わりますので、音色カテゴリーボタンを押して、選みたい音色の番号(3ケタ)を入力します(イラスト参照)。音色番号は音色リスト(58ページ)をご覧ください。  
[－/NO]/[＋/YES]ボタンで前の番号/次の番号を選ぶことができます。カテゴリーが変わっても番号の順にすべての音色から選ぶことができます。

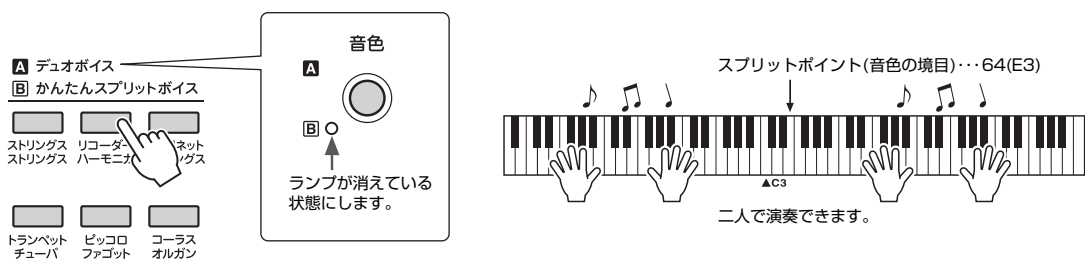


[音色]ボタンを押すと、通常の音色選択の状態(「VoiceNo.off」表示)に戻ります。

## いろいろな音色で弾いてみよう

### 鍵盤を2つに分けて2人同時に演奏する(デュオボイス)

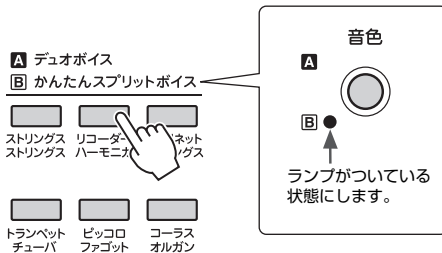
デュオボイスの音色を選ぶと、鍵盤を左と右に分けて2人同時に演奏できます。スプリットポイント(初期設定：64(E3))を含んで左側の鍵盤にはパネルに印刷された2音色の下段の音色が選ばれ、スプリットポイントより右側の鍵盤には上段の音色が選ばれます。



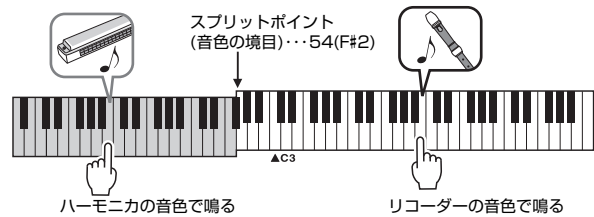
デュオボイスを選ぶと、自動的にスプリットがオンに設定されます。この状態で、他の音色を選ぶと右側の音色が変更されます。デュオボイスを終了するには[スプリット]ボタンを押してスプリットをオフにします。

## 右手と左手で違う設定で弾く(かんたんスプリットボイス)

かんたんスプリットボイスの音色を選ぶと、鍵盤の左側と右側それぞれ違う設定になります。右手と左手で違う音色を演奏するとき便利です。スプリットポイント(初期設定：54(F#2))を含んだ左側の鍵盤にはパネルに印刷された2音色の下の音色が選ばれ、スプリットポイントより右側の鍵盤には上段の音色が選ばれます。



### リコーダー / ハーモニカの場合

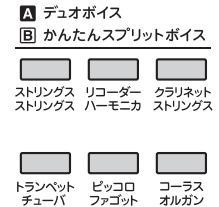


かんたんスプリットボイスを選ぶと、自動的にスプリットがオンになります。この状態で、他の音色を選ぶと右手側の音色が変更されます。かんたんスプリットボイスを終了するには[スプリット]ボタンを押してスプリットをオフにします。

### ●デュオボイス/かんたんスプリットボイスの設定について

デュオボイス/かんたんスプリットボイスは、音色カテゴリーボタン(右図)を押したときに呼び出される設定がおすすめですが、一部の設定を変えることもできます(下記参照)。変更した設定は、他のデュオボイス/かんたんスプリットボイスを選ぶと解除されますので、レジストレーションメモリー(45ページ)に保存しておくことをおすすめします。

- ・左側の鍵盤の音色も変更ができます。音色の変更手順は25ページ「スプリット音色を変更する」と同じです。42ページの機能番号017でも変更できます。左側の音色設定は機能番号018～022で変更できます。
- ・スプリットポイントを変更できます。(42ページ、機能番号018)
- ・右側/左側、それぞれのオクターブを変更できます。設定は[機能]ボタンで行ないます。右側のオクターブを変更したい場合は「機能番号009メイン音色のオクターブ」、左側のオクターブを変更したい場合は「機能番号020スプリット音色のオクターブ」で行ないます。



## ドラムキットや効果音を鳴らす

音色カテゴリーの「ドラムキット」および「効果音/XG」、「ワールド」の一部は、ドラム、パーカッションやさまざまな効果音です。これらの音色は鍵盤それぞれに異なる楽器音や効果音が割り当てられています。各鍵盤への音色の割り当ては「ドラムキットリスト」(61ページ)をご覧ください。

## ワンタッチセッティング

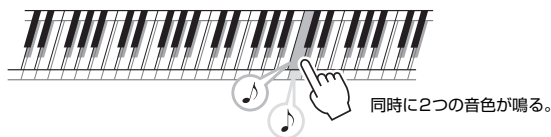
スタイル(27ページ)を鳴らしながら演奏する際、どの音色を選んでよいか迷ったら、この機能をお使いください。22ページの手順「音色番号を直接指定して音色を選ぶ」で音色番号「000」を選ぶと現在選ばれているスタイルに最適な音色が自動的に選ばれます。

### NOTE

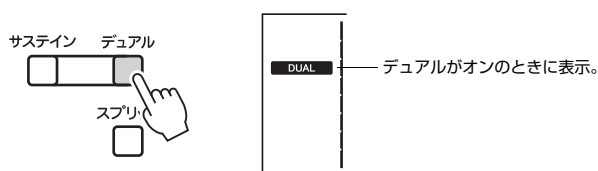
- ・ワンタッチセッティングは外部から読み込んだスタイル(53ページ)には機能しません。

## 2つの音色を重ねて弾いてみよう(デュアル)

鍵盤を弾いたときに、2つの音色を重ねて鳴らせます。21ページで選んだ音色をメイン音色、そこに重ねるもうひとつの音色をデュアル音色と呼びます。



[デュアル]ボタンでデュアルのオン/オフを切り替えます。



### デュアル音色を変更する

デュアル音色は、現在のメイン音色に最適なものが自動的に選ばれますが、自分で選ぶこともできます。

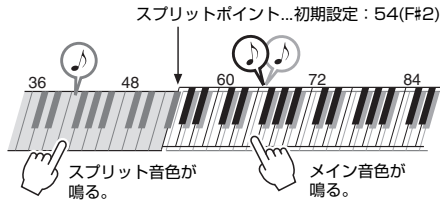
- 1 [デュアル]ボタンを押したまま、重ねたい音色のカテゴリーボタンを押します。  
「D.Voice」と表示されデュアル音色の設定待ちの状態になります。デュアル音色に設定中は「VOICE」アイコンの下にバーは表示されません。
- 2 [-/NO]/[+/YES]ボタンで、重ねたい音色を選びます。
- 3 [音色]ボタンを押して、デュアル音色の設定画面を終了します。  
メイン音色名が表示され、VOICEアイコンの下にバーが表示されます。

#### NOTE

- メイン音色を切り替えるとデュアル音色は初期設定に戻ります。
- デュアル時の音色設定は変更できます。(42ページ、機能番号012~016)

## 左手と右手で違う音色を弾いてみよう(スプリット)

スプリットポイントを境に鍵盤の右手側と左手側で違う音色で弾けます。右手側で鳴る音をメイン音色、左手側で鳴る音色をスプリット音色といいます。

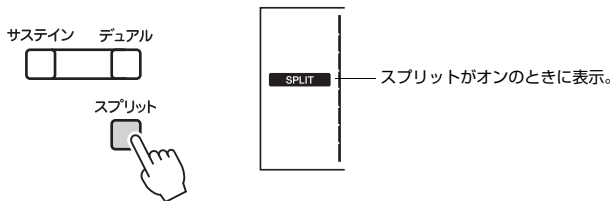


### NOTE

- デュアルがオンのときは、右手側でメイン音色とデュアル音色の両方が鳴ります。

[スプリット]ボタンでスプリットのオン/オフを切り替えます。

スプリットがオンのとき左側の鍵盤を弾くと、スプリット音色が鳴ります。スプリットがオンの状態で、他の音色を選ぶと、右手側のメイン音色が変更されます。スプリット音色を鳴らしたくないときは、もう一度[スプリット]ボタンを押してスプリットをオフにします。



## スプリット音色を変更する

スプリット音色は、初期設定では「音色番号61 フィンガーベース」が選ばれますが、自分で選ぶこともできます。

1 [スプリット]ボタンを押したまま、好きな音色カテゴリーボタンを押します。

「S.Voice」と表示されスプリット音色の設定待ちの状態になります。スプリット音色設定中は「VOICE」アイコンの下にバーは表示されません。

2 [-/NO]/[+/YES]ボタンで、好きな音色を選びます。

3 [音色]ボタンを押して、スプリット音色の設定画面を終了します。  
メイン音色名が表示され、VOICEアイコンの下にバーが表示されます。

### NOTE

- 右側のメイン音色は、スプリットがオンのときに他の音色を選ぶと変更されます。

### NOTE

- スプリット時の音色設定は変更できます。(42ページ、機能番号017～022)

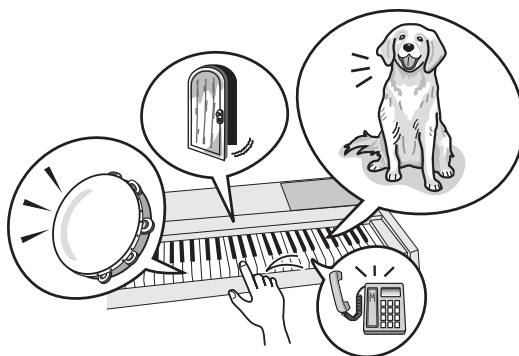
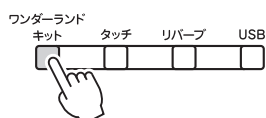
## スプリットポイントを変更する

スプリットポイントは変更できます。(42ページ、機能番号018)

## ワンダーランドキットで遊ぼう

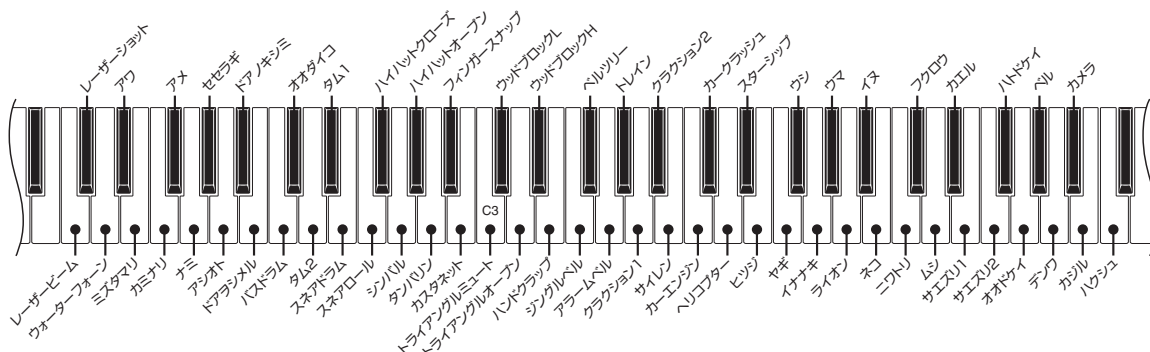
この楽器では、各鍵盤を押したときに、動物の鳴き声や打楽器の音などのいろいろな音が鳴らせます。鍵盤を押さえてみましょう！

### 1 [ワンダーランドキット]ボタンを押します。



### 2 黒鍵も含めていろいろな鍵盤を押さえてみましょう。

犬の鳴き声、小川のせせらぎ、電話の音などいろいろな音が鳴ります。



\*ワンダーランドキットは楽器番号198を選んだときに各鍵盤に割り当てられるキットと同じです。

他の音色を選ぶと、通常の状態に戻ります。

# スタイルを使って弾いてみよう

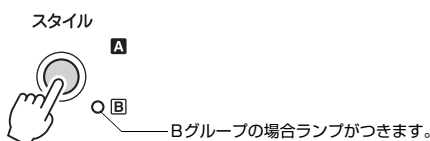
この楽器には、リズムを含んだ自動伴奏(スタイル)がポップスやロックをはじめとしたさまざまなジャンルで用意されています。スタイルを使うと、フルバンドやオーケストラのような演奏がひとりでできます。スタイル名と番号は65ページのスタイルリストをご覧ください。

## スタイルのリズムを選んで鳴らしてみよう

まず、スタイルのリズムパート(ドラムキット音色)だけを鳴らして、それに合わせて演奏してみましょう。各スタイルで異なるリズムが鳴らせます。

### 1 [スタイル]ボタンを押してグループ(AまたはB)を選びます。

Aグループのスタイル名はスタイルカテゴリーの各ボタンの上側に、Bグループのスタイル名は下側に印刷されています。[スタイル]ボタンを押すたびにAグループとBグループが切り替わります。



### 2 選みたいカテゴリーボタンを押します。

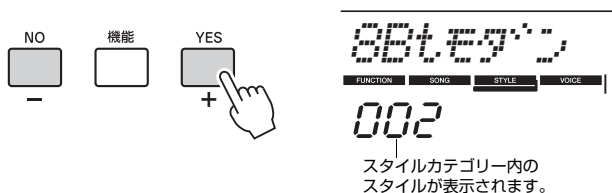
カテゴリー内のスタイルが呼び出されます。



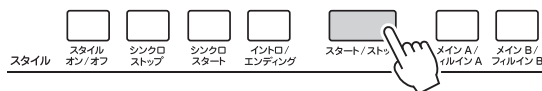
#### NOTE

- スタイルカテゴリーボタンを押すと、前回そのカテゴリーで選んだスタイルが呼び出されます。カテゴリーの先頭の音色を呼び出すには[-/NO]ボタンと[+/YES]ボタンを同時に押します。
- 他の楽器で作成したスタイルは、スタイルファイルを本楽器に読み込むことで、同様に呼び出せます(53ページ)。外部から読み込んだスタイルはスタイル番号161となります。

### 3 [-/NO]と[+/YES]ボタンを押して、スタイルカテゴリー内のスタイルを指定します。



### 4 [スタート/ストップ]ボタンを押して、スタイルのリズムをスタートさせます。



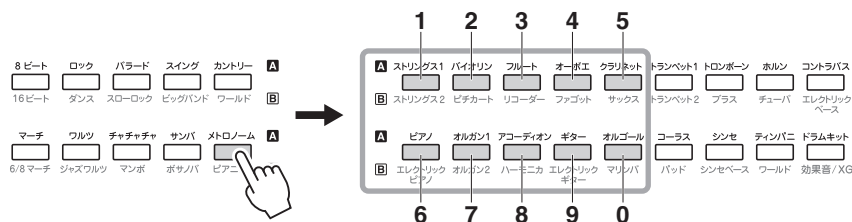
#### NOTE

- いくつかのスタイルではリズムパートがないため、リズムは鳴りません。スタイルを使いたい場合は28ページの手順に従ってスタイルをオンにしてからお使いください。

### 5 もう一度[スタート/ストップ]ボタンを押すと、ストップします。

## スタイル番号を直接指定してスタイルを選ぶ

画面に「StyleNo.on」と表示されるまで[メトロノーム]ボタンを押したままにします。表示されたら、音色カテゴリーボタンは数字入力ボタンに変わりますので、音色カテゴリーボタンを押して、選びたいスタイルの番号(3ケタ)を入力します(イラスト参照)。スタイル番号は、スタイルリスト(65ページ)をご覧ください。USBフラッシュメモリーなどから読み込んだスタイル(53ページ)またはコンピューターからミュージックソフトダウンローダー(ヤマハのファイル転送用アプリケーション)を使って楽器本体に保存したスタイル(56ページ)は、スタイル番号161で呼び出せます。[-/NO]/[+/YES]ボタンで前の番号/次の番号のスタイルを選ぶことができます。カテゴリーが変わっても、スタイル番号の順にすべてのスタイルから選ぶことができます。



[スタイル]ボタンを押すと、通常のスタイル選択の状態(「StyleNo.off」表示)に戻ります。

## メトロノームを鳴らす

スタイルで「メトロノーム」のカテゴリーを選べると、メトロノームが鳴らせます。鳴らし方は「スタイルのリズムを選んで鳴らしてみよう」(27ページ)の手順と同じです。

### NOTE

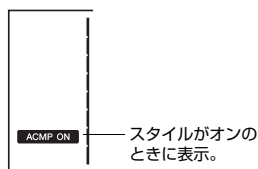
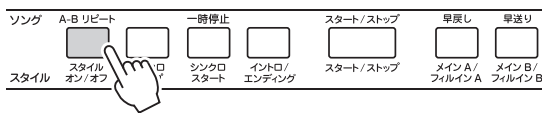
- テンポの設定は、テンポ[-]/[+]ボタンで行ないます(29ページ)。

## スタイルに合わせて演奏してみよう

スタイルを使うと、左手でコード(和音)を押さえるだけで、自動的にそのコードに合ったスタイル(伴奏)が鳴ります。

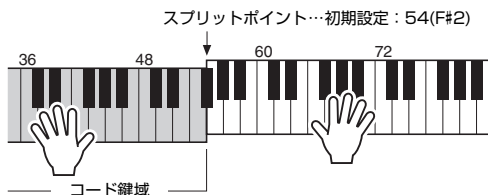
1 選びたいスタイルを選択します(27ページ手順1~3)。

2 [スタイル オン/オフ]ボタンを押して、スタイルをオンにします。



### ■スタイルがオンになると

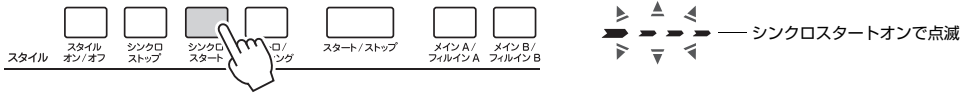
スプリットポイントより左側の鍵盤(コード鍵域)は、和音(コード)を認識するための機能となります。



### NOTE

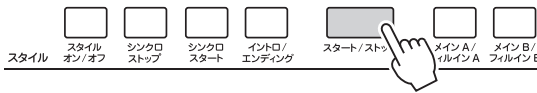
- スプリットポイントは変更できます。(42ページ、機能番号018)

- 3 [シンクロスタート]ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします。  
シンクロスタートをオンにすると、スタイルの再生待機状態になります。コード鍵域の鍵盤を押さえると、スタイルがスタートします。



- 4 コード鍵域でコードを弾いて、スタイルをスタートさせます。  
左手でコードを弾き、右手でメロディーを弾きましょう。

- 5 [スタート/ストップ]ボタンを押すと、スタイルはストップします。



**NOTE**

- [スタート/ストップ]ボタンを押してもスタイルがスタートしますが、その場合はスタイルのリズムだけが鳴ります。コード鍵域でコードを押さえると、ベースやコードが鳴ります。

**■コード音だけを鳴らすには**

シンクロスタートがオフの状態です[スタイル オン/オフ]ボタンを押して、「ACMP ON」アイコンを表示させます。この状態でコード鍵域のコードを弾くと、スタイルを再生させずにコード音だけ鳴らせます。この機能を使うと、右手で弾いたメロディーにハーモニーを加えることができます(34ページ)。

## スプリットポイントを変更する

[機能]ボタンを使って、スプリットポイントを変更します。(42ページ、機能番号018)

## スタイルのテンポを変更する

テンポ[+]/[-]ボタンを押して、テンポ(1分間あたりの拍数: 11~280)を変更します。



**NOTE**

- テンポ[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、スタイルの初期設定のテンポに戻ります。

## スタイルの音量を調節する

スタイル音量[+]/[-]ボタンを押して、スタイル音量(000~127)を変更します。



**NOTE**

- スタイル音量の[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、スタイル音量の初期設定(100)に戻ります。

## コードの押さえ方

ここでは、はじめてコードを弾く方のために、よく使われるコードを紹介します。ほかにもたくさんのコードや別の押さえ方があります。詳しく知りたい場合は、市販のコード表などをご参照ください。

★がルート(根音)です。

メジャー	マイナー	セブンス	マイナーセブンス	メジャーセブンス
<b>C</b> 	<b>Cm</b> 	<b>C7</b> 	<b>Cm7</b> 	<b>CM7</b> 
<b>D</b> 	<b>Dm</b> 	<b>D7</b> 	<b>Dm7</b> 	<b>DM7</b> 
<b>E</b> 	<b>Em</b> 	<b>E7</b> 	<b>Em7</b> 	<b>EM7</b> 
<b>F</b> 	<b>Fm</b> 	<b>F7</b> 	<b>Fm7</b> 	<b>FM7</b> 
<b>G</b> 	<b>Gm</b> 	<b>G7</b> 	<b>Gm7</b> 	<b>GM7</b> 
<b>A</b> 	<b>Am</b> 	<b>A7</b> 	<b>Am7</b> 	<b>AM7</b> 
<b>B</b> 	<b>Bm</b> 	<b>B7</b> 	<b>Bm7</b> 	<b>BM7</b> 

- コード押鍵はその転回形も認識します。ただし、以下のコードを例外とします。  
m7、m7♭5、6、m6、sus4、aug、dim7、7♭5、6(9)、sus2
- 7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形を認識しません。
- sus2はルートのみが画面表示されます。
- コードとして成立しない鍵盤が押された場合、画面にコード名は表示されません。

### ●かんたんなコードの押さえ方

コード鍵域で鍵盤を1～3か所押さえるだけでコードを指定することができます。

《Cの例》



**メジャー (M)**  
ルートキー (根音: ★)を押さえます。



**マイナー (m)**  
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を押さえます。



**セブンス (7)**  
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を押さえます。

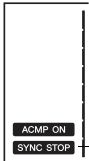


**マイナーセブンス (m7)**  
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえます。

## スタイルを使いこなそう

### [シンクロストップ]

[スタイル オン/オフ] がオンのとき(画面に「ACMP ON」が表示されているとき)、シンクロストップをオン/オフします。  
オンにすると、コード鍵域でコードを弾いている間だけスタイルが鳴ります。コード鍵域から手を離すとスタイルが停止します。



シンクロストップがオンのときに表示。

### [シンクロスタート]

シンクロスタートをオン/オフします。  
オンにすると、シンクロスタート待機状態(ビート表示が点滅)になり、以下の操作でスタイルをスタートします。  
・[スタイル オン/オフ]がオフの場合  
鍵盤(どこでも)を押すと、スタイルのリズムパートのみが再生スタートします。  
・[スタイル オン/オフ]がオンの場合  
コード鍵域でコードを押さえると、スタイルの全パートが再生スタートします。  
スタイル再生中にこのボタンを押すと、再生がストップしシンクロスタート待機状態になります。

### [スタート/ストップ]

スタイルをスタート/ストップします。



### [イントロ/エンディング]

#### スタイル停止中

スタイル再生前にこのボタンを押しておくで、スタイルの冒頭にイントロを鳴らすことができます。イントロ再生が終わると、自動的にメインに移ります。

#### スタイル再生中

スタイル再生中にこのボタンを押すと、エンディングが鳴ったあと、スタイルが停止します。エンディングが鳴っているときに、このボタンを押すとエンディングにリタルダントがかかり、徐々にゆっくりになり停止します。

### [メインA/フィルインA]、[メインB/フィルインB]

#### スタイル停止中

スタイルのメイン演奏にはAとBの2パターンがあります。このボタンでA/Bを選びます。

#### スタイル再生中

スタイル再生中に違うパターンのボタンを押すと、自動的にフィルインが演奏されその後メインのパターンA/Bが切り替わります。メインのパターンを切り替えずにフィルインのみを入れる場合は、現在と同じパターン(A/B)のボタンを押します。

## ■おすすめスタイル演奏

### 演奏準備

- 1 スタイルを選びます(27ページ参照)。
- 2 [スタイル オン/オフ]ボタンを押して、スタイルをオンにします。
- 3 [メインA/フィルイン A]または[メインB/フィルイン B]を押して、メインAまたはメインBを選びます。
- 4 [イントロ/エンディング]ボタンを押します。
- 5 [シンクロスタート]ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします。

スタイルの冒頭にイントロを鳴らす設定ができました。

### 演奏スタート

- 6 コード鍵域でコードを押さえると同時に、選んだスタイルのイントロがスタートします。イントロ再生が終わったら、手順3で選んだメインAまたはメインBに自動的に移ります。
- 7 [メインA/フィルイン A]または[メインB/フィルイン B]を押すと、フィルインを入れたり、メインのパターンを切り替えることができます。

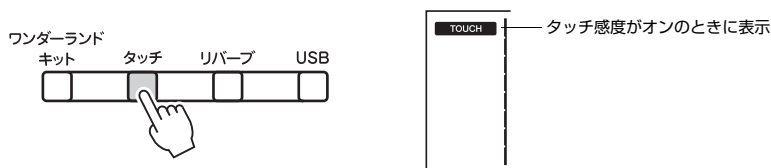
### エンディング

- 8 [イントロ/エンディング]ボタンを押して、エンディングを鳴らします。  
エンディングが流れたあと、スタイルが自動的にストップします。

# 便利な機能

## 鍵盤を弾く強さで音量を変える(タッチレスポンス)

[タッチ]ボタンを押してタッチレスポンスをオンにすると、鍵盤を弾くときの強弱で音量を変えることができます。[タッチ]ボタンでオン/オフを切り替えます。オフに設定すると、鍵盤を弾く強さに関係なく一定の音量で鳴ります。



## タッチ感を調節する

タッチレスポンスがオンのときのタッチ感を設定できます。タッチ感度のレベルは3段階から選べます。(41ページ、機能番号007)

## 音の高さを変える(移調：トランスポーズ)

楽器全体の音の高さを半音単位で上下にできます。弾く鍵盤を変えずに、他の楽器や歌う人の声の高さにキー(調)を合わせられます。たとえばトランスポーズを「5」に設定すると「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が鳴るので「ハ長調」の弾き方で「ヘ長調」の演奏ができます。トランスポーズは[機能]ボタンで設定ができます。(41ページ、機能番号003)

## 音の高さを微調整する(チューニング)

楽器全体の音の高さを約0.2Hz単位で微調整ができます。他の楽器と演奏したりCDなどに合わせて演奏したりする際に、音の高さを正確に合わせられます。チューニングは[機能]ボタンで設定します。(41ページ、機能番号004)

初期設定は、442.0Hzです。チューニングを変えた場合は「かんたんスプリットボイス」または「デュオボイス」を選ぶと初期設定の442.0Hzに戻ります。

## ポルタメントを使う

ポルタメントとは、最初に弾いた鍵盤の音程から次に弾いた鍵盤の音程までを連続的に変化させる機能です。レガート演奏(あるキーを押したまま次のキーを押す演奏)をした時にだけ、ポルタメントの効果がかけられます。[PORTAMENTO](ポルタメント)ボタンでオン/オフします。

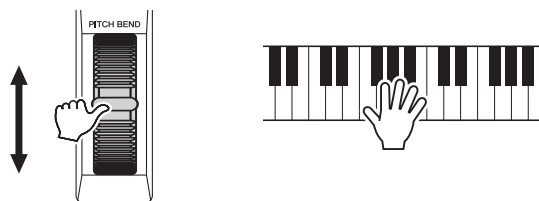


## ポルタメントタイムを変える

ポルタメントタイム(音の高さが変わる速さ)は調節できます。(41ページ、機能番号006)

## ピッチベンドを使う

鍵盤を押しながらピッチベンドホイールを上下に動かすことで、弾いた音の高さ(ピッチ)をなめらかに上下できます。ホイールから手を離すとホイールは中央位置に戻り音程も元に戻ります。

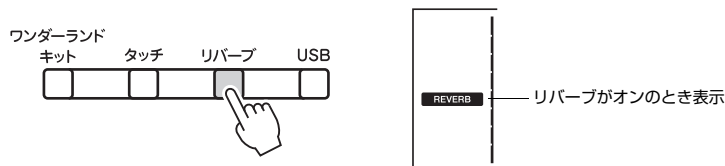


## ピッチベンドの変化幅を変える

ピッチベンドの変化幅は半音単位で調節できます。(41 ページ、機能番号 005)

## リバーブ(残響)効果をかける

コンサートホールで演奏しているような残響効果を付けます。[リバーブ]ボタンでオン/オフを切り替えます。



## リバーブのタイプを変える

スタイルや外部ソングを選ばと、スタイルやソングで設定されているリバーブタイプが自動的に選ばれますが、[機能]ボタンでリバーブタイプを変えることもできます。(43 ページ、機能番号 023)リバーブタイプは66ページのリバーブタイプリストをご覧ください。

### NOTE

- メイン/デュアル/スプリット音色それぞれにかかるリバーブのかかり具合(リバーブレベル)は「機能設定」(42 ページ)で調節できます。

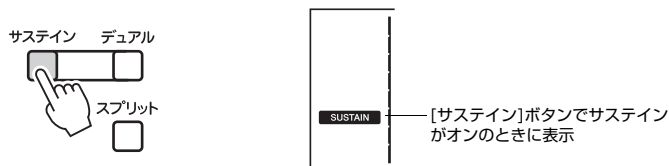
## サステイン(余韻)をつける

サステインをオンにすると、音色に自然な余韻が付きます。ピアノおよび弦楽器系の音色でスローな曲を演奏するときなど、特に効果的です。[サステイン]ボタンでオン/オフを切り替えます。

別売のフットスイッチを使って、演奏音に余韻(サステイン効果)を付けることもできます(20 ページ)。

### NOTE

- サステイン効果はメイン音色、デュアル音色、デュオボイスにかかります。スプリット音色には効果はかかりません。



## コーラス効果をつける

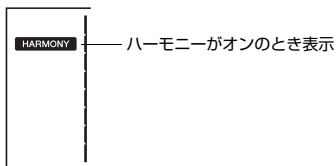
音にひろがりや厚みを加えます。スタイルや外部ソングを選ぶと、スタイルやソングで設定されているコーラストাইプが自動的に選ばれますが、[機能]ボタンでコーラストাইプの変更またはオフにできます。(43ページ、機能番号024)コーラストাইプは66ページのコーラストাইプリストをご覧ください。

### NOTE

- メイン/デュアル/スプリット音色それぞれにかかるコーラスのかかり具合(コーラスレベル)は「機能設定」(42ページ)で調節できます。

## ハーモニー効果を付ける

鍵盤を1つ押さえただけでハーモニー音が付いたり、エコーやトレモロの効果をつけたりできます。ハーモニー効果はメインボイスのみにかかります。ハーモニーをオンにすると、そのときの楽器音に最適なハーモニータイプが自動的に選ばれますが、変更することもできます。ハーモニーのオン/オフおよびハーモニーに関する設定は[機能]ボタンで行ないます。(43ページ、機能番号026～028)ハーモニータイプは66ページのハーモニータイプリストをご覧ください。



### タイプ別鳴らしかた

- ハーモニータイプ01～04、07～08、13～14、24～26



スタイルをオン(28ページ)にして自動伴奏鍵域でコードを弾きながら右手鍵盤を弾く

- ハーモニータイプ09～12(トリル)



鍵盤を2つ押さえ続ける

- ハーモニータイプ15～17、19(トレモロ)



鍵盤を押さえ続ける

- ハーモニータイプ05～06、20～23(エコー)



鍵盤を弾く

- ハーモニータイプ18(デュアルアサイン)

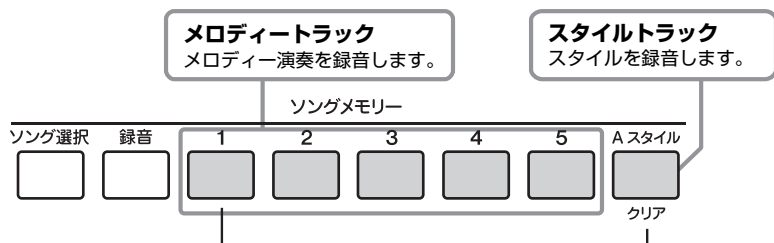


鍵盤を弾く

デュアルをオンにして鍵盤をレガートに弾いてください。弾いた順番にメインボイス、デュアルボイスが交互に割り当てられます。

# 演奏を録音しよう

自分の演奏をユーザーソング (UsrSong 1～5：ソング番号101～105)として5曲まで録音し保存できます。各ユーザーソングは、メロディートラック5トラックとスタイルトラック1トラックの合計6トラックに録音できます。またトラックを選んで別々に録音できます。



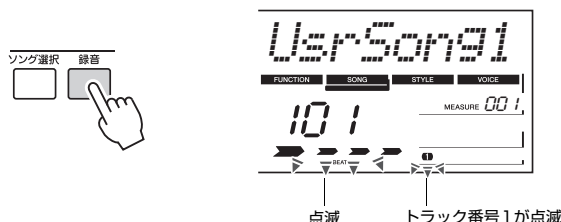
## NOTE

- 録音したデータはUSBフラッシュメモリーに保存できます(47ページ)。
- スタイル番号、スタイル音量、および[機能]ボタンでの設定(41ページ)は録音中に変更できません。

## 録音する

### 1 [録音]ボタンを押します。

あらかじめユーザーソングを選んでいない場合や、スタイルモードから録音待機状態に移った場合は、まだデータが入っていない、一番小さい番号のユーザーソングが自動的に選ばれ、トラック番号1が点滅します。ここが録音対象のトラックになります。



録音をやめるにはもう一度[録音]ボタンを押します。

## 注記

- ユーザーソングにデータが録音されているかどうかを確認するには、[ソング選択]ボタンを使ってユーザーソングを選び、トラック番号の表示を確認してください。データがすでに入っているトラック番号は点灯します。データがすでに入っているユーザーソングに録音すると、すでにあったデータは消えてしまいますので、ご注意ください。
- すべてのユーザーソング(ソング番号101～105)がすでに録音済みの場合は、ユーザーソング101が自動的に選ばれます。データがすでに入っているユーザーソングに録音すると、すでにあったデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

## NOTE

- スタイルも同時に録音する場合は、[録音]ボタンを押す前に[スタイル]ボタンを押し、[スタイル オン/オフ]ボタンを押してスタイルをオンにしておきます。[録音]ボタンを押すとトラック1とともにAも点滅します。

## 注記

- 「Writing!」表示中に電源を切らないでください。データが失われます。

### 2 鍵盤を押さえると同時に録音が始まります。

[スタート/ストップ]ボタンを押して録音を始めることもできます。

### 3 [スタート/ストップ]または[録音]ボタンを押すと録音がストップします。

「Writing!」と表示され、録音データがユーザーソングに書き込まれます。



[スタート/ストップ]ボタンを押すと、今録音した演奏が再生されます。

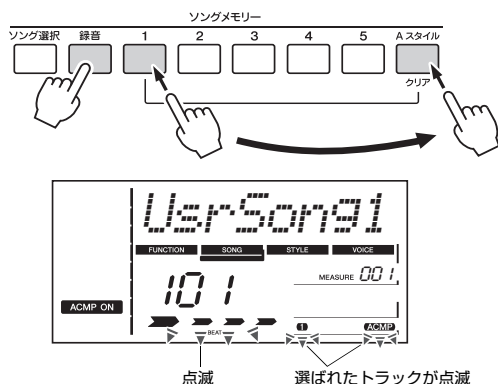
## トラックを選んで録音する

### 1 録音したいユーザーソングを選びます。

[ソング選択]ボタンを押した後、[-/NO]/[+/YES]ボタンでユーザーソング番号を選びます。

### 2 録音するトラックを選びます。

[録音]ボタンを押しながら、録音したいトラックのボタン[1]~[5]のどれかを押します。スタイルも同時に録音する場合は、[録音]ボタンを押したまま続けて[A]ボタンを押します。



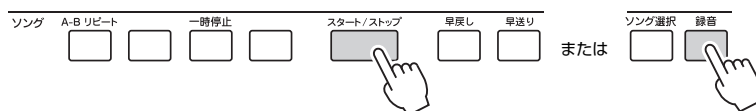
録音をやめるトラックがある場合は、そのトラックのボタンをもう一度押します。

### 3 鍵盤をおさえると同時に録音が始まります。

[スタート/ストップ]ボタンを押して録音を始めることもできます。

### 4 [スタート/ストップ]または[録音]ボタンを押すと録音がストップします。

「Writing!」と表示され、録音データがユーザーソングに書き込まれます。スタイルトラックの録音中に[イントロ/エンディング]ボタンを押すと、エンディングが鳴り、自動的に録音がストップします。



[スタート/ストップ]ボタンを押すと、今録音した演奏が再生されます。

#### ●他のトラックを録音する場合

手順2~4を繰り返して、他のトラックを録音します。トラックボタン[1]~[5]、[A]を押すことで、録音済みのトラックを再生しながら(トラック番号点灯)、他のトラックを録音することもできます。また、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラック番号消灯)他のトラックを録音することもできます。

#### ●録音をやり直すには

やり直したいトラックを録音トラックとして選びます。録音をスタートすると、上書き録音(前のデータを消去して、新しいデータを録音)します。

#### 注記

- すでにデータがあるトラックに録音すると、以前に録音したデータは上書きされて消えてしまいます。

#### NOTE

- 録音済みのトラックを鳴らしながら録音や再生をすることもできます(39ページ)。
- 録音にスタイルトラック[A]を選ぶと、自動的にスタイルがオンになり「ACMP ON」アイコンが表示されます。録音中は、スタイル オン/オフの切り替えはできません。
- スタイルがオンで、スタイルトラック[A]にデータがない場合は、メロディートラックを選ぶと、スタイルトラック[A]も自動的に録音トラックとして選ばれます。メロディートラックだけを録音したい場合は、スタイルトラック[A]をオフ(消灯)にします。

#### 注記

- 「Writing!」表示中に電源を切らないでください。データが失われます。

#### NOTE

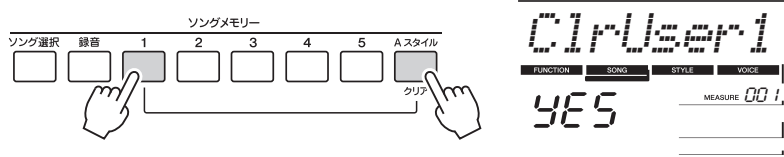
- メトロノーム(スタイルのひとつ)を鳴らしながら演奏したメロディーを録音した場合、録音後にトラック[A]のメトロノーム音を消すことができます。(37ページ「トラックを選んで消去する(トラッククリア)」)
- デュアルボイスはトラック[1]と[2]のみに録音できます。スプリットボイスとデュオボイスはトラック[1]のみに録音できます。

## ユーザーソングを消去する

録音済みのユーザーソングを消去します。ユーザーソングを1曲すべて消去する「ソングクリア」と、選んだトラックのみを消去する「トラッククリア」があります。

### ユーザーソングを1曲すべて消去する(ソングクリア)

- 1 消去するユーザーソングを選びます。  
[ソング選択]ボタンを押して、[-/NO]/[+/YES]ボタンでユーザーソング番号(101~105)を選びます。
- 2 ソングメモリーの[1]と[A]ボタンを同時に1秒以上押します。  
ソングクリアの画面になります。



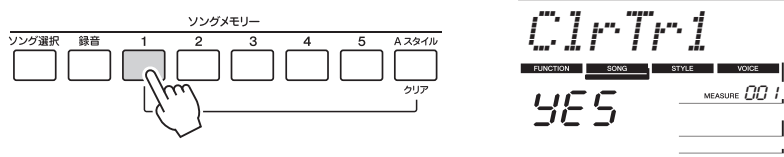
- 3 [+ /YES] ボタンを押します。  
消去してよいか確認メッセージ「Sure?」が表示されます。消去をやめる場合は[-/NO]ボタンを押します。
- 4 消去するときはもう一度[+/YES]ボタンを押します。  
「Writing!」と表示され、選んだユーザーソングが消去されます。

#### 注記

- 「Writing!」表示中に電源を切らないでください。データが失われます。

### トラックを選んで消去する(トラッククリア)

- 1 消去するユーザーソングを選びます。  
[ソング選択]ボタンを押して、[-/NO]/[+/YES]ボタンでユーザーソング番号(101~105)を選びます。
- 2 消去するトラックのボタン([1]~[5]、[A])を1秒以上押します。  
トラッククリアの画面になります。



- 3 [+ /YES] ボタンを押します。  
消去してよいか確認するメッセージ「Sure?」が表示されます。消去をやめる場合は[-/NO]ボタンを押します。
- 4 消去するときはもう一度[+/YES]ボタンを押します。  
「Writing!」と表示され、選んだトラックが消去されます。

#### 注記

- 「Writing!」表示中に電源を切らないでください。データが失われます。

# ソングを鳴らしてみよう

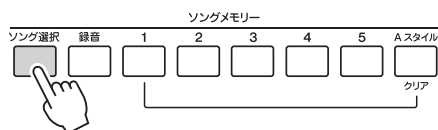
あなたが録音したユーザーソング(35ページ)や、コンピューターから読み込んだソングデータ(56ページ)、USBフラッシュメモリー内のソングデータなどを再生してみましょう。

## ソングを選んで聞く

### 1 聞きたいソングを保存しているメモリーを選びます。

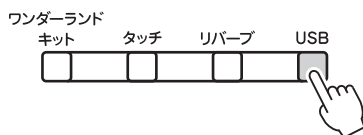
楽器に保存されている場合(ユーザーソングなど)

[ソング選択]ボタンを押します。



USBフラッシュメモリーに保存されている場合

USB [TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーが正しく接続されていることを確認し、[USB]ボタンを押します。



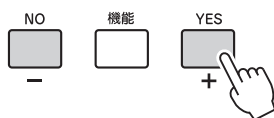
#### NOTE 1

- USBフラッシュメモリーの取り扱いについては47ページの「USBフラッシュメモリーを接続する」をご覧ください。

#### NOTE 1

- USBフラッシュメモリーのソングデータを再生するときは、(ルートを0とした場合)2階層までのフォルダーに保存してください。それより下の階層のフォルダーに保存されたソングは、選択/再生できませんので、ご注意ください。

### 2 [-/NO]/[+/YES]ボタンで、聞きたいソング番号を選びます。



#### ソングタイプ

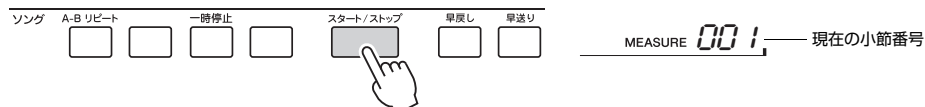
ソング番号	内容
101~105	この楽器に録音したユーザーソング(35ページ)
201~300	コンピューターから楽器に読み込んだソングデータ(56ページ)
301~700	USBフラッシュメモリーに保存されているソングデータ

#### NOTE 1

- [-/NO]ボタンと[+/YES]ボタンを同時に押すと、そのとき選ばれているソングの保存場所が楽器かUSBフラッシュメモリーかにしたがって、それぞれの先頭のソングが呼び出せます。

### 3 [スタート/ストップ]ボタンを押すとソングが再生されます。

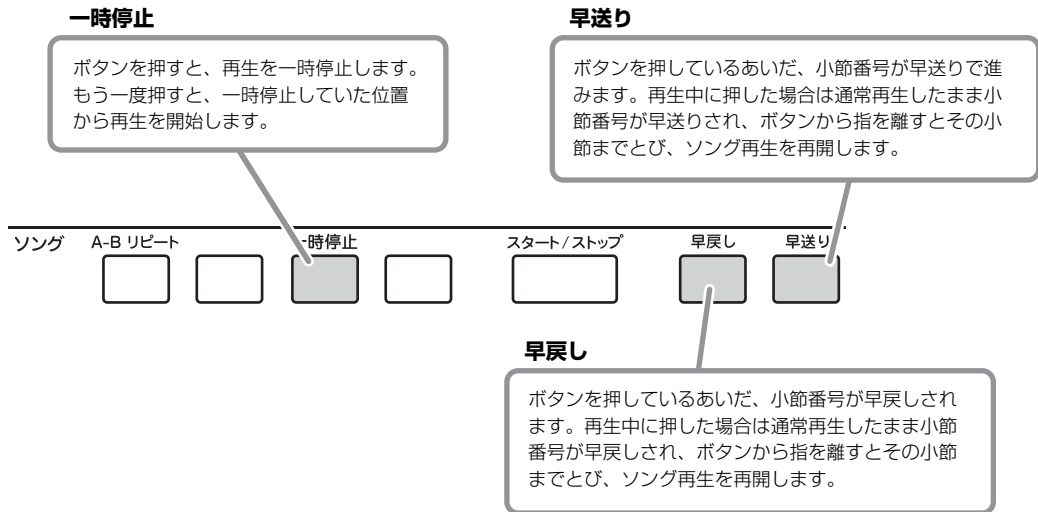
再生中は、現在の小節番号が表示されます。



### 4 もう一度[スタート/ストップ]ボタンを押すと再生がストップします。

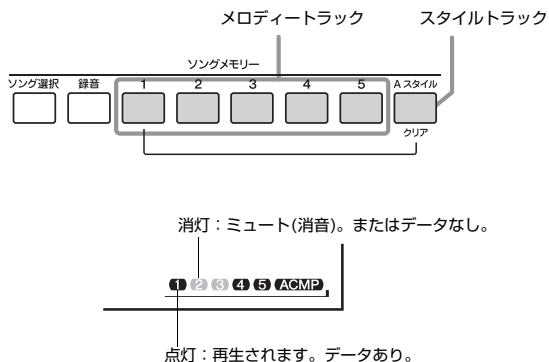
## ソングの再生をコントロールする

### 一時停止、早戻し、早送り



### ソングのトラックをミュート(消音)する

ソングは複数のトラックが同時に鳴っています。それらのトラックの一部のトラックを鳴らさずに自分で弾いたり、特定のトラックだけを鳴らしたりできます。トラックをミュート(消音)するには、ミュートしたいトラック番号のボタン([1]～[5]、[A])を押します。ミュートを解除するには、もう一度同じボタンを押します。



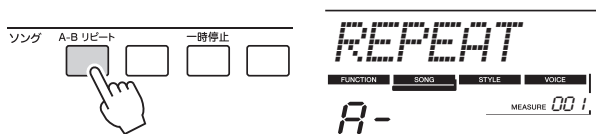
### ソングの音の高さを変える(トランスポーズ：移調)

鍵盤の音の高さも含め、楽器全体の音の高さを半音単位で変えます。トランスポーズの設定は[機能]ボタンで行ないます。(41 ページ、機能番号003)

## ソングの一部をくり返して聞く (A-Bリピート)

ソングのある特定の範囲 (A点とB点) を指定して、くり返し再生できます (A-Bリピート)。難しい小節をくり返し練習したいときなどに便利な機能です。トラックのミュート (前ページ) を設定して使うとさらに効果的です。

- 1 ソング再生をスタートして、くり返し再生の開始位置 (A点) にしたいポイントで [A-Bリピート] ボタンを押します。

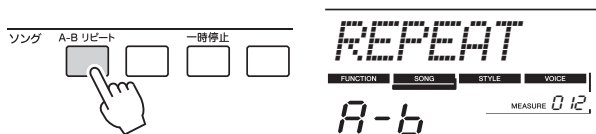


### NOTE

- くり返しの開始位置 (A点) を曲の先頭に設定するには、ソング再生前に [A-Bリピート] ボタンを押します。

- 2 くり返し再生の終了位置 (B点) にしたいポイントにきたら、もう一度 [A-Bリピート] ボタンを押します。

カウントが鳴ったあと、A-B間のくり返し再生が始まります。



### NOTE

- くり返しの終了位置 (B点) をソングの最後に設定するには、A点を設定後、ソング終了まで [A-Bリピート] ボタンを押さずに待ちます。自動的にソング終了位置にB点が設定されます。

- 3 [スタート/ストップ] ボタンを押すと再生がストップします。

- 4 くり返しの設定を取り消すには、もう一度 [A-Bリピート] ボタンを押します。

画面に「REPEAT oFF」が表示されます。別のソングを選ぶか別の機能を選択すると、設定したA点とB点も取り消されます。

## ソングのテンポを変える

テンポ [ + ] / [ - ] ボタンでテンポ (11 ~ 280) を設定できます。



### NOTE

- テンポの [ + ] ボタンと [ - ] ボタンを同時に押すと、ソングの初期設定のテンポに戻ります。

## ソングの音量を変える

ソングを鳴らしながら鍵盤を弾く場合、ソングの音量を変更することで、鍵盤演奏とのバランスがとれます。ソングの音量の設定は [機能] ボタンで行ないます。 (41 ページ、機能番号 002)

# 機能設定

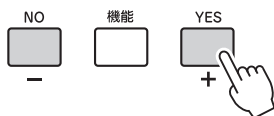
各音色や効果、スプリットなどの細かな設定をするのが機能設定です。まず、機能リスト(41～43ページ)をご覧ください、設定したい項目を見つけたら、下記の操作で設定の変更をしてください。

## 1 [機能] ボタンを何度か押して、設定したい項目を表示させます。

[機能] ボタンを押すごとに機能番号の順番に項目が表示されます。また[機能] ボタンを押したまま[-/NO]ボタンを押すごとに、ひとつ前の機能番号の項目が表示されます。



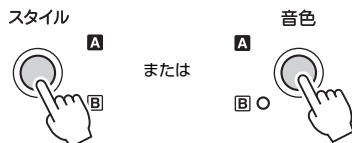
## 2 [-/NO]/[+/YES] ボタンで値を設定します。



### NOTE

- 録音中は[機能] ボタンを押しても機能設定画面には入れません。
- [-/NO] ボタンと[+/YES] ボタンを同時に押すと、設定中の機能は初期設定に戻ります。

## 3 機能設定を終了するには[スタイル]または[音色] ボタンを押します。



### ■機能リスト

機能番号	設定項目	設定表示	設定値	初期設定	内容
楽器全体					
001	テンポロック	TempLock	ON/OFF	OFF	スタイルを切り替えたときに、テンポを切り替えるかどうかを設定します。 ON：スタイルの切り替え前のテンポを保持します。 OFF：切り替えたスタイルの持つテンポに切り替えます。
002	ソング音量	SongVol	000～127	100	ソング選択時の、ソング再生音量を設定します。「SONG」アイコンの下にバーが表示されているときのみ設定可能です。
003	トランスポーズ	TransPos	-12～00～12	00	楽器全体の音の高さを半音単位で上下できます。ドラムキットおよびSEキット音色(61ページ)には設定できません。
004	チューニング	Tuning	427.0Hz～453.0Hz	442.0Hz	楽器全体の音の高さを約0.2Hz単位で微調整できます。ドラムキットおよびSEキット音色(61ページ)には設定できません。
005	ピッチベンド幅	PBRange	01～12	02	ピッチベンドの変化幅を半音単位で設定します。
006	ポルタメントタイム	PortTime	000～127	64	ポルタメントタイム(音の高さが変わる速さ)を設定します。 * [PORTAMENTO] ボタンを1秒以上押したままにすると、この設定が表示されます。
007	タッチ感度	TouchSns	1 (Soft)/ 2 (Medium)/ 3 (Hard)	2 (Medium)	タッチレスポンスがオンのときのタッチ感度を設定します。設定値が大きいほど、強く弾かないと大きい音が出ません。 * [タッチ] ボタンを1秒以上押したままにすると、この設定画面が表示されます。

機能番号	設定項目	設定表示	設定値	初期設定	内容
<b>メイン音色</b>					
008	メイン音色音量	<i>M. Volume</i>	000～127	音色ごとに異なります。	メイン音色(ソングやスタイル)に合わせて演奏するときの手弾き音)の音量を設定します。
009	メイン音色のオクターブ	<i>M. Octave</i>	-2～0～2	音色ごとに異なります。	メイン音色の音の高さをオクターブ単位で設定します。
010	メイン音色のリバーブレベル	<i>M. Reverb</i>	000～127	音色ごとに異なります。	リバーブオン時に、メイン音色にどれだけリバーブをかけるかを設定します。
011	メイン音色のコーラスレベル	<i>M. Chorus</i>	000～127	音色ごとに異なります。	コーラスオン時に、メイン音色にどれだけコーラスをかけるかを設定します。
<b>デュアル音色</b>					
012	デュアル音色	<i>D. Voice</i>	001～671	音色ごとに異なります。	デュアル音色(メイン音色に重ねる音色)を選びます。設定したい音色のカテゴリーボタンを押したあと、[-/NO]/[+YES]ボタンで音色を選びます。音色カテゴリー A/Bの切り替えはできません。メイン音色と同じグループの音色から選択します。 *[デュアル]ボタンを1秒以上押したままにすると、この設定画面が表示されます。
013	デュアル音色音量	<i>D. Volume</i>	000～127	音色ごとに異なります。	デュアル音色の音量を設定します。
014	デュアル音色のオクターブ	<i>D. Octave</i>	-2～0～2	音色ごとに異なります。	デュアル音色の音の高さをオクターブ単位で設定します。
015	デュアル音色のリバーブレベル	<i>D. Reverb</i>	000～127	音色ごとに異なります。	リバーブオン時に、デュアル音色にどれだけリバーブをかけるかを設定します。
016	デュアル音色のコーラスレベル	<i>D. Chorus</i>	000～127	音色ごとに異なります。	コーラスオン時に、デュアル音色にどれだけコーラスをかけるかを設定します。
<b>スプリット音色(デュオ/かんたんスプリットは除く)</b>					
017	スプリット音色	<i>S. Voice</i>	001～671	61 (フィンガーベース)	スプリット音色(スプリット時に鍵盤の左側で鳴る音色)を選びます。設定したい音色のカテゴリーボタンを押したあと、[-/NO]/[+YES]ボタンで音色を選びます。音色カテゴリー A/Bの切り替えはできません。メイン音色と同じグループの音色から選択します。 *[スプリット]ボタンを1秒以上押したままにすると、この設定画面が表示されます。
018	スプリットポイント	<i>Split Pnt</i>	021～108 (A-1～C7)	054 (F#2)	<p>鍵盤を左右に分けるスプリットポイントを設定します。 [スタイル オン/オフ]がオンのときは、鍵盤の左側は、スタイルのコードを認識するための機能になります。スプリットがオンのときは、鍵盤の左側は、スプリット音色を鳴らすための機能になります。</p>  <p>スプリットポイント(初期設定: 54(F#2))</p> <p>— スプリットボイス またはコード鍵域</p> <p>*スタイルモードのとき[スタイル オン/オフ]ボタンを1秒以上押したままにすると、この設定画面が表示されます。</p>
019	スプリット音色の音量	<i>S. Volume</i>	000～127	080	スプリット音色の音量を設定します。
020	スプリット音色のオクターブ	<i>S. Octave</i>	-2～0～2	0	スプリット音色の音の高さをオクターブ単位で設定します。
021	スプリット音色のリバーブレベル	<i>S. Reverb</i>	000～127	008	リバーブオン時に、スプリット音色にどれだけリバーブをかけるかを設定します。
022	スプリット音色のコーラスレベル	<i>S. Chorus</i>	000～127	000	コーラスオン時に、スプリット音色にどれだけコーラスをかけるかを設定します。

機能番号	設定項目	設定表示	設定値	初期設定	内容
<b>エフェクト</b>					
023	リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	01~11	ソング/スタイルごとに最適なタイプが設定されています。	リバーブタイプを設定します(リバーブタイプリスト: 66ページ)。 「11」はリバーブオフ。 * [リバーブ] ボタンを1秒以上押したままにすると、この設定画面が表示されます。
024	コーラスタイプ	<i>Chorus</i>	1~5	ソング/スタイルごとに最適なタイプが設定されています。	コーラスタイプを設定します(コーラスタイプリスト: 66ページ)。 「5」はコーラスオフ。
025	マスターEQ	<i>MasterEQ</i>	Normal/ Powerful/ Headphone	Normal	マスターEQタイプを設定します。 <b>Normal(ノーマル)</b> : 楽器内蔵のスピーカーを使って、ナチュラルなサウンドで演奏する場合に選びます。 <b>Powerful(パワフル)</b> : 低音域と高音域が強調された、迫力のあるサウンドで演奏する場合に選びます。 <b>Headphone(ヘッドフォン)</b> : ヘッドフォンや外部スピーカーに接続して演奏する場合に選びます。
026	ハーモニーオン/オフ	<i>Harmony</i>	ON/OFF	OFF	ハーモニーのオン/オフを切り替えます。
027	ハーモニータイプ	<i>HarmType</i>	01~26	音色ごとに異なります。	ハーモニータイプを設定します(ハーモニータイプリスト: 66ページ)。
028	ハーモニー音量	<i>HarmVol</i>	000~127	音色ごとに異なります。	ハーモニーの音量を設定します(34ページ)。
<b>MIDI</b>					
029	PCモード	<i>PC mode</i>	PC1/ PC2/OFF	OFF	外部MIDI機器と接続するときのMIDI設定を、一括で切り替えます。このリストの最後に詳しい解説があります。
030	ローカルオン/オフ	<i>Local</i>	ON/OFF	ON	この楽器の演奏を、楽器の内部音源で鳴らす(ON)のか鳴らさない(OFF)のかを設定します。
031	外部クロック	<i>ExtClock</i>	ON/OFF	OFF	この楽器のクロックを、コンピューターから受信したMIDIクロックでこの楽器を動作させる(ON)か、この楽器の内部クロックで動作させる(OFF)のかを設定します。
032	イニシャルセンド	<i>InitSend</i>	-	-	この楽器のパネル設定情報をコンピューターに送信します。この楽器での演奏をコンピューター上の音楽制作アプリケーションソフトウェアで録音する際、録音スタート直後にイニシャルセンドを実行しておくといでしょう。録音データをこの楽器で再生するとき、録音時と同じパネル設定で再生されます。[+/YES] ボタンを押すと送信します。送信が完了すると「End」と表示されます。キャンセルする場合は[-/NO] ボタンを押します。
<b>その他の機能</b>					
033	フリーズモード	<i>Freeze</i>	ON/OFF	OFF	ONに設定すると、レジストレーションメモリーボタン[1]~[4]を押してもスタイルの設定情報は書き換えられません(46ページ)。スタイルはそのまま、スタイル以外の設定(音色など)を変更したい場合に便利です。

**NOTE**

- MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略で、電子楽器やコンピューターとの間で演奏情報をやりとりすることができる世界共通の規格です。詳しくは、MIDI関連の書籍などをご覧ください。

## ■PCモード(機能番号029)

以下のMIDI設定を一括で切り替えます。

	PC1	PC2	OFF
ローカル *1	オフ	オフ	オン
外部ロック *2	オン	オフ	オフ
ソングアウト *3	オフ	オフ	オン
スタイルアウト *3	オフ	オフ	オフ
キーボードアウト *3	オフ	オン	オン

\*1 オン：この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らします。

オフ：この楽器の鍵盤および各スイッチやコントローラーは、この楽器の内部音源から切り離され、この楽器で発音しません。

\*2 オン：コンピューターから受信したMIDIクロックでこの楽器を動作させます。

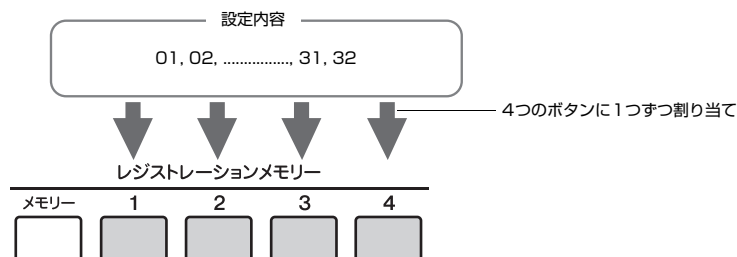
オフ：この楽器の内部クロックで動作させます。

\*3 オン：ソング/スタイル/鍵盤演奏のデータをコンピューターへ送信します。

オフ：ソング/スタイル/鍵盤演奏のデータをコンピューターへ送信しません。

# 好みのパネル設定を記録しよう(レジストレーションメモリー)

この楽器には、音色やスタイルなど、操作パネル上の設定内容を32種類まで本体に記録する「レジストレーションメモリー」機能があります。記録したパネル設定の中から4つ選んでボタンを割り当て、ワンタッチで設定を呼び出せます。



## パネル設定をレジストレーションに記録する

### ●レジストレーションメモリーに記録できる設定内容

#### スタイル\*

- ・スタイル番号、音量、テンポ
- ・スタイル オン/オフ
- ・スプリットポイント
- ・メインA/B

\* ソング操作中(SONGアイコンの下にバーが表示)は、スタイル設定(スプリットポイントは除く)はレジストレーションメモリーに記録できません。

#### 音色

- ・メイン音色設定(音色番号、音量、オクターブ、リバーブレベル、コーラスレベル)
- ・デュアル音色の設定(デュアル オン/オフ、音色番号、音量、オクターブ、リバーブレベル、コーラスレベル)
- ・スプリット音色の設定(スプリットポイント、スプリット オン/オフ、音色番号、音量、オクターブ、リバーブレベル、コーラスレベル)

#### エフェクト

- ・リバーブ オン/オフ、タイプ
- ・コーラス タイプ
- ・サステイン オン/オフ

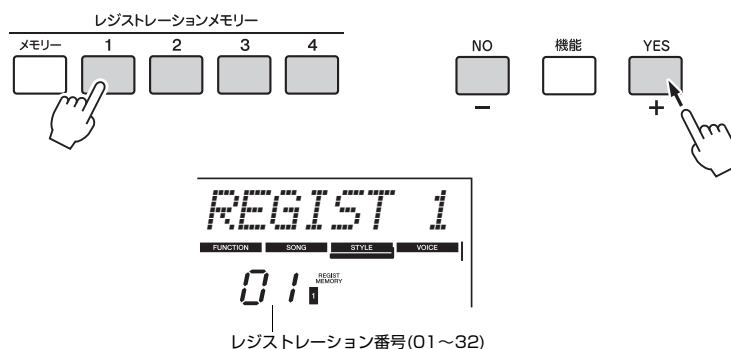
#### ハーモニー

- ・ハーモニー オン/オフ、タイプ、音量

#### その他

- ・トランスポーズ
- ・チューニング
- ・ピッチベンド幅
- ・ポルタメント オン/オフおよびタイム
- ・タッチレスポンス オン/オフ

- 1 レジストレーションメモリーボタン[1]～[4]のどれかを押しながら、[-/NO]/[+/YES]ボタンで設定を記録したいレジストレーション番号を選びます。



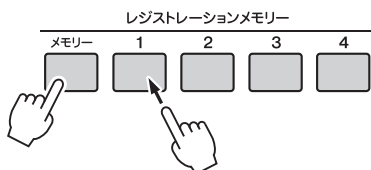
#### 注記

- ・すでにデータが記録されているレジストレーション番号を選ぶと、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。重要なデータはUSBフラッシュメモリーなどに保存してください(47ページ)。

## 2 パネル設定(音色、スタイル、エフェクトなど)を記録したい状態にします。

## 3 [メモリー]ボタンを押しながら、手順1で押したレジストレーションメモリーボタン[1]～[4]を押します。

「Writing」表示され、手順1で選んだレジストレーション番号にパネル設定が記録されます。



### 注記

- 「Writing!」表示中に電源を切らないでください。データが失われます。

## 4 他のレジストレーション番号に記録する場合は、手順1～3を繰り返します。

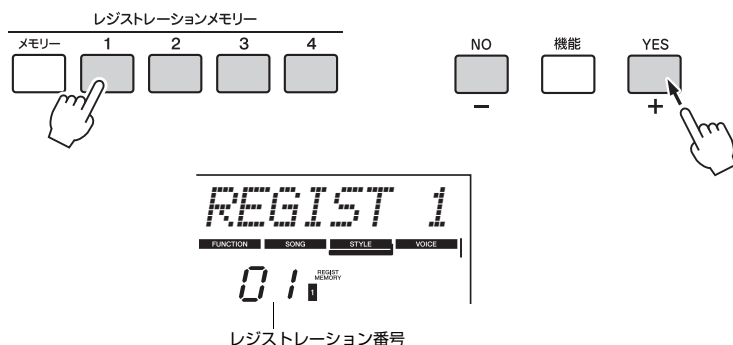
## 記録したパネル設定を呼び出す

記録したパネル設定は、レジストレーションメモリーボタン([1]～[4]のどれか)を押しながら、[－/NO]/[＋/YES]ボタンで目的のレジストレーション番号を選ぶことで呼び出せます。

演奏中に、記録したパネル設定をすばやく呼び出したい場合などは、パネル上のボタンに割り当てておく便利です。演奏時にボタンを押すだけで呼び出せるよう、記録したレジストレーション番号のうち、演奏に使いたい4つを、それぞれ4つのボタンに割り当ててみましょう。

## 1 使いたいレジストレーション番号を、パネル上のボタン[1]に割り当てます。

レジストレーションメモリーボタン(この場合は[1]ボタン)を押しながら、[－/NO]/[＋/YES]ボタンで目的のレジストレーション番号を選びます。ボタンから指を離すと、選んだレジストレーション番号が、ボタン[1]に割り当てられます。



### 注記

- 同じ番号のレジストレーション番号に記録すると、新しいデータで上書きされ、古いデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

### NOTE

- ボタンに割り当てた番号は、いったん電源を切るとクリアされ、以下の割り当てになります。
- ボタン[1]にはレジストレーション番号1
- ボタン[2]にはレジストレーション番号2
- ボタン[3]にはレジストレーション番号3
- ボタン[4]にはレジストレーション番号4

## 2 同様の手順で、ボタン[2]/[3]/[4]にも、好きなレジストレーション番号を割り当てます。

## 3 手順1で割り当てたレジストレーションメモリーボタン([1]～[4])を押すだけで、割り当てておいたレジストレーション番号の設定が呼び出されます。

スタイルの設定は現在のまま変えずに、呼び出したいレジストレーションメモリーのスタイル以外の設定を適応することができます。その場合は、音色カテゴリーボタン[ピアノ]を押しながら目的のレジストレーションメモリーボタン([1]～[4])を押します。

# USBフラッシュメモリーを使う

## USBフラッシュメモリーを接続する

この楽器のUSB [TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリー (別売)を接続し、ユーザーソングやレジストレーションメモリーを個別のファイルとして保存できます。また、他の楽器などで作成したスタイルをこの楽器に読み込むこともできます。

### USB [TO DEVICE]端子で使用上の注意

この楽器にはUSB [TO DEVICE]端子があります。端子にUSBフラッシュメモリーを接続する場合は、以下のことをお守りください。

#### NOTE

- USBフラッシュメモリーの取り扱いについては、お使いのUSBフラッシュメモリーの取扱説明書もご覧ください。

### ■使用できるUSB機器

- USBフラッシュメモリー

上記以外のUSB機器(USBハブ、マウス、コンピューターのキーボードなど)を接続しても使用できません。動作確認済みのUSB機器については、ご購入前にインターネット上の下記URLでご確認ください。

<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>

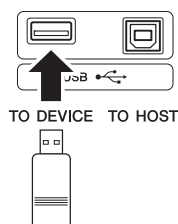
本機では、USB1.1～3.0の機器がご利用できますが、機器への保存や機器からの読み込みにかかる時間は、データの種類や本機の状態により異なりますのでご了承ください。

#### NOTE

- USB [TO DEVICE]端子の定格は、最大5V/500mAです。定格を超えるUSB機器は故障の原因になるため、接続しないでください。

### ■USBフラッシュメモリーの接続

USB [TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



#### 注記

- USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(保存/削除/フォーマットなど)、およびUSB機器へのアクセス中には行なわないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行なってください。

#### NOTE

- USBケーブルで接続する場合は、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB [TO DEVICE]端子と接続するUSB機器の間をケーブルなどで延長することはできません。

### USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器本体で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーのデータを楽器本体で再生したりできます。

### ■接続できるUSBフラッシュメモリーの数

同時に使用できるUSBフラッシュメモリーは、1台のみです。

### ■USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーは本機でフォーマット(54ページ)することをおすすめします。他の機器でフォーマットしたUSBフラッシュメモリーは、本機で正しく動作しない場合があります。

#### 注記

- フォーマットを実行すると、USBフラッシュメモリー内のデータはすべて消去されます。必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットしてください。

### ■誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能がついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、書き込みができないようにライトプロテクトを設定しましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

### ■USBフラッシュメモリー接続時に電源を切るには

電源を切る場合は、再生/録音やファイル操作(保存/削除/フォーマットなど)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

## USBフラッシュメモリーの使い方(ファイル操作)

USBフラッシュメモリーと楽器との間での、ファイルの保存(セーブ)/読み込み(ロード)操作について説明します。

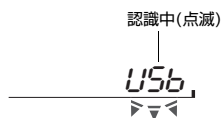
### NOTE

- USBフラッシュメモリーをお使いの前に「USBフラッシュメモリーを接続する」(47ページ)をよくお読みください。
- 操作中に画面メッセージ(状態や操作確認など)が表示されることがあります。メッセージについては「メッセージリスト」(67ページ)をご覧ください。
- USBフラッシュメモリー内のファイルをコンピューターで編集する場合、ファイルは必ず「USER FILES」フォルダー内、もしくは「USER FILES」内に作ったフォルダーに保存してください。それより下の階層のフォルダーに保存されたファイルは認識されません。
- この楽器で認識できるファイル名は半角の英数字のみです。

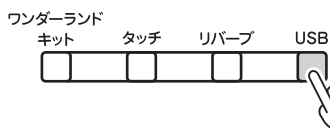
### ファイル操作の基本手順

#### 1 USBフラッシュメモリーをUSB [TO DEVICE]端子に差し込みます。

USBフラッシュメモリーの認識が完了するまで待ちます(「USB」が点滅→数秒間点灯→元の表示に戻る→認識完了)。



#### 2 「Load USB」と表示されるまで[USB]ボタンを押したままにします。



### NOTE

- 「Unformat」と表示された場合は、USBフラッシュメモリーをフォーマットする必要があります。「USBフラッシュメモリーをフォーマットする」(54ページ)の手順に従ってフォーマットを行なってください。
- スタイルまたはソングの再生/録音中は、ファイル操作画面には入れません。
- ファイル操作画面表示中は鍵盤を弾いても音は出ません。また、ファイル操作に関するボタン以外は使用できません。

#### 3 [-/NO]/[+/YES]ボタンで目的のファイル操作画面を表示させ、作業を行ないます。各操作の詳細は以下の表の参照ページをご覧ください。

操作	参照ページ
レジストレーションメモリーデータをUSBフラッシュメモリーに保存する。	49
USBフラッシュメモリーから楽器にレジストレーションメモリーデータを読み込む。	49
USBフラッシュメモリー内のレジストレーションメモリーデータを削除する。	50
ユーザーソングをUSBフラッシュメモリーに保存する。	51
USBフラッシュメモリーから楽器にユーザーソングを読み込む。	52
USBフラッシュメモリー内のユーザーソングを削除する。	53
スタイルファイルを楽器に読み込む。	53
USBフラッシュメモリーをフォーマットする。	54

### 注記

- 保存/削除/フォーマットなどデータのアクセス中やUSBフラッシュメモリーのマウント中は、電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。USBメモリー内のデータや楽器本体のデータが壊れるおそれがあります。

### NOTE

- USBフラッシュメモリー内のソングデータを再生する場合は38ページの「ソングを鳴らしてみよう」をご覧ください。

#### 4 [-/NO]/[+/YES]ボタンで「Exit?」を表示させたあと、[機能]ボタンを押してファイル操作画面を終了します。



[音色]または[スタイル]ボタンを押しても、ファイル操作画面を終了します。

## レジストレーションメモリーデータをUSBフラッシュメモリーに保存する

全レジストレーションメモリー (32件) を1ファイル (拡張子: USR) にまとめ、USBフラッシュメモリーに保存 (最大100ファイル: USER001~USER100) ができます。

- 1 「ファイル操作の基本手順」 (48ページ) の1~2でファイル操作画面を表示し、[-/NO]/[+/YES] ボタンで「Save USR」を表示させます。



- 2 [機能] ボタンを押します。
- 3 保存先のファイルを指定したい場合は、[-/NO]/[+/YES] ボタンを押して目的のファイル名を選びます。  
最初に表示されるファイルは、USBフラッシュメモリー内のデータの入っていないファイルの中で一番小さい番号のものです。



- 4 [機能] ボタンを押します。「SaveOK?」と保存実行の確認表示がされます。  
手順3でデータのあるファイルを選んだ場合は「Overwr?」 (上書きしますか?) と表示されます。操作を実行すると、すでにあるデータは上書きされ消えてしまいます。保存をやめるには[-/NO] ボタンを押します。
- 5 保存を実行する場合は、[機能] ボタンまたは[+/YES] ボタンを押します。  
レジストレーションメモリーファイルがUSBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダーに保存され、「Compleat」 (完了) と表示されます。

### NOTE

- 保存が完了したら「ファイル操作の基本手順」 (48ページ) の手順4の操作で、ファイル操作画面から抜けます。

## USBフラッシュメモリーから楽器にレジストレーションメモリーデータを読み込む

USBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダー内にあるレジストレーションメモリーファイル (拡張子: USR) を楽器に読み込みます。

- 1 「ファイル操作の基本手順」 (48ページ) の1~2でファイル操作画面を表示し[-/NO]/[+/YES] ボタンで「Load USR」を表示させます。

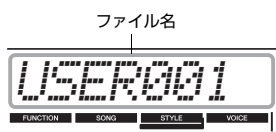


- 2 [機能] ボタンを押します。

### 注記

- レジストレーションメモリーファイルを読み込むと、楽器に保存されているすべて (32種) のレジストレーションメモリーは上書きされ、消えてしまいます。必要なデータは、あらかじめUSBフラッシュメモリーにファイルを保存しておいてください。

- 3 [－/NO]/[＋/YES]ボタンを押して、USBフラッシュメモリー内の目的のファイルを選びます。



- 4 [機能]ボタンを押します。「LoadOK?」と読み込み実行の確認表示がされます。

読み込みをやめるには[－/NO]ボタンを押します。

- 5 読み込みを実行する場合は、[機能]ボタンまたは[＋/YES]ボタンを押します。

読み込みが完了すると「Compleat.」(完了)と表示されます。レジストレーションボタン[1]～[4]を押して、正しく読み込まれたことを確認してください。

**NOTE**

- 読み込みが完了したら「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順4の操作でファイル操作画面から抜けます。

## USBフラッシュメモリー内のレジストレーションメモリーデータを削除する

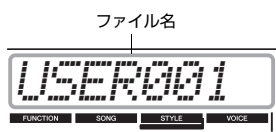
USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダーに保存したレジストレーションメモリーファイル(拡張子：USR)を削除します。

- 1 「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の1～2でファイル操作画面を表示し、[－/NO]/[＋/YES]ボタンで「Del USR」を表示させます。



- 2 [機能]ボタンを押します。

- 3 [－/NO]/[＋/YES]ボタンを押して、USBフラッシュメモリー内の目的のファイルを選びます。



- 4 [機能]ボタンを押します。「Del OK?」と削除実行の確認表示がされます。削除をやめるには[－/NO]ボタンを押します。

- 5 削除を実行する場合は、[機能]ボタンまたは[＋/YES]ボタンを押します。削除が完了すると「Compleat.」(完了)と表示されます。

**NOTE**

- 削除が完了したら「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順4の操作で、ファイル操作画面から抜けます。

## ユーザーソングをUSBフラッシュメモリーに保存する

ユーザーソングは、SMFファイルとして1曲ずつUSBフラッシュメモリーに保存できます(拡張子：MID)。最大5ファイルまで保存できます(ファイル名：UsrSong1～UsrSong5)。

### NOTE

- SMF(Standard MIDI File)フォーマットとは、鍵盤などで演奏した内容をMIDIデータとして記録する書式のことです。フォーマット0とフォーマット1があり多くの楽器がSMFフォーマット0に対応しています。また、市販のソングデータの多くがSMFフォーマット0で作られています。この楽器で録音されたユーザーソングもSMFフォーマット0で保存されます。

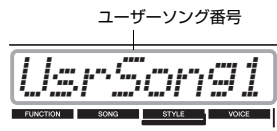
- 1 「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の1～2でファイル操作画面を表示し、[-/NO]/[+/YES]ボタンで「Save SMF」を表示させます。



- 2 [機能]ボタンを押します。

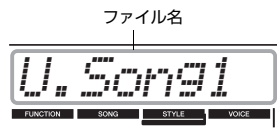
- 3 [-/NO]/[+/YES]ボタンを押して、保存するユーザーソング番号を選びます。

データのあるユーザーソング番号だけが選択できます。



- 4 [機能]ボタンを押します。

- 5 保存先のファイルを指定したい場合は、[-/NO]/[+/YES]ボタンを押して目的のファイルを選びます。



### NOTE

- ユーザーソングの保存先として画面に表示されたファイル名(U.Song1～U.Song5)は、USBフラッシュメモリーにはSMFファイル(UsrSong1～UsrSong5)として保存されます。

- 6 [機能]ボタンを押します。「SaveOK?」と保存実行の確認表示がされます。

手順5でデータのあるファイルを選んだ場合は「Overwr?」(上書きしますか?)と表示されます。操作を実行すると、すでにあるデータは上書きされ消えてしまいます。保存をやめるには[-/NO]ボタンを押します。

- 7 保存を実行する場合は、[機能]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押します。ユーザーソングファイルがUSBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダーに保存され、「Compleat」(完了)と表示されます。

### NOTE

- 保存が完了したら「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順4の操作でファイル操作画面から抜けます。

## USBフラッシュメモリーから楽器にユーザーソングファイルを読み込む

USBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダー内に保存したユーザーソングファイル(ファイル名: UsrSong1.MID～UsrSong5.MID)を楽器にユーザーソングとして読み込みます。

- 1 「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の1～2でファイル操作画面を表示し[－/NO]/[＋/YES]ボタンで「Load SMF」を表示させます。



- 2 [機能]ボタンを押します。
- 3 [－/NO]/[＋/YES]ボタンを押して、USBフラッシュメモリー内の目的のファイルを選びます。



- 4 [機能]ボタンを押します。「LoadOK?」と読み込み実行の確認表示がされます。  
読み込みをやめるには[－/NO]ボタンを押します。

### 注記

- 楽器内のユーザーソングと同じ番号のソングを読み込むと、そのユーザーソングは上書きされ、消えてしまいます。必要なデータは、あらかじめUSBフラッシュメモリーにファイルを保存しておいてください。

- 5 読み込みを実行する場合は、[機能]ボタンまたは[＋/YES]ボタンを押します。  
読み込みが完了すると「Compleat.」(完了)と表示されます。ユーザーソングを呼び出して再生し(38ページ)、正しく読み込まれたことを確認しましょう。

### NOTE

- 保存が完了したら「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順4の操作でファイル操作画面から抜けます。

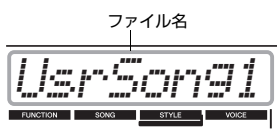
## USBフラッシュメモリー内のユーザーソングファイルを削除する

USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダーに保存したユーザーソングファイル(拡張子：MID)をファイルごとに削除します。

- 1 「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順1～2でファイル操作画面を表示し、[－/NO]/[＋/YES]ボタンで「Del SMF」を表示させます。



- 2 [機能]ボタンを押します。
- 3 [－/NO]/[＋/YES]ボタンを押して、USBフラッシュメモリー内の目的のファイルを選びます。



- 4 [機能]ボタンを押します。「Del OK?」と削除実行の確認表示がされます。削除をやめるには[－/NO]ボタンを押します。
- 5 削除を実行する場合は、[機能]ボタンまたは[＋/YES]ボタンを押します。削除が完了すると「Compleat.」(完了)と表示されます。

### NOTE

- 削除が完了したら「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順4の操作でファイル操作画面から抜けます。

## スタイルファイルを楽器に読み込む

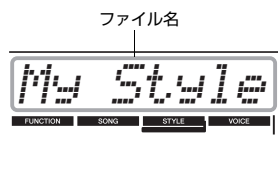
USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダーに保存したスタイルファイル(拡張子：STY)を1つだけ楽器に読み込みます。読み込んだスタイルはスタイル番号161に保存され、内蔵スタイルと同じように再生できます(27ページ)。

- 1 「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順1～2でファイル操作画面を表示し、[－/NO]/[＋/YES]ボタンで「Load STY」を表示させます。  
USBフラッシュメモリーから読み込む場合は、スタイルファイルは、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダー内に保存してください。そのフォルダーの外にあるファイルは認識できません。また、スタイルファイル名に2バイト文字(ひらがな、カタカナ、漢字、全角の記号など)を使わないでください。認識されません。



- 2 [機能]ボタンを押します。

### 3 [-/NO]/[+/YES]ボタンを押して、目的のファイルを選びます。



#### 注記

- スタイルを読み込むと、以前にスタイル番号161にあったデータは上書きされて消えてしまいます。

### 4 [機能]ボタンを押します。「LoadOK?」と読み込み実行の確認表示がされます。

読み込みをやめるには[-/NO]ボタンを押します。

### 5 読み込みを実行する場合は、[機能]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押します。

読み込みが完了すると「Compleat.」(完了)と表示されます。スタイル番号161を選んで(28ページ)、スタイルが正しく読み込まれていることを確認してください。

#### 注記

- 読み込んだスタイルファイルを外部に保存することはできません。USBフラッシュメモリーまたはコンピューターにある元データを残しておいてください。

#### NOTE

- 読み込みが完了したら「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順4の操作でファイル操作画面から抜けます。

## USBフラッシュメモリーをフォーマットする

USBフラッシュメモリーを接続した際、「Unfomat」(フォーマットされていません)と表示された場合は、以下の手順でフォーマットを行なってください。

### 1 「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順1～2でファイル操作画面を表示し、[-/NO]/[+/YES]ボタンで「Format?」を表示させます。



### 2 [機能]ボタンを押します。「Sure?」(実行してもよいですか?)とフォーマット実行の確認表示がされます。

フォーマットをやめるには[-/NO]ボタンを押します。

### 3 フォーマットを実行する場合は、[機能]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押します。

フォーマットが完了すると「Compleat.」(完了)と表示されます。

#### 注記

- フォーマットを実行すると、USBフラッシュメモリー内のデータはすべて消去されます。必要なデータは、コンピューターや他のUSBフラッシュメモリーに保存しておいてください。

#### NOTE

- フォーマットが完了したら「ファイル操作の基本手順」(48ページ)の手順4の操作で、ファイル操作画面から抜けます。

# コンピューターとデータを送受信する

この楽器のUSB [TO HOST]端子に接続したコンピューターとの間で、データを送受信や、コンピューターでの楽器の操作、楽器の各種データの編集などができます。

## コンピューターと接続する

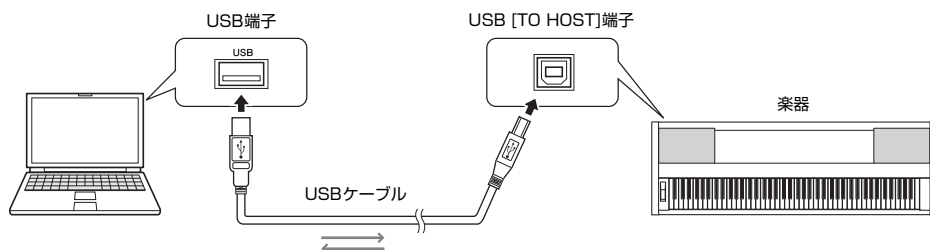
### USB [TO HOST]端子ご使用時の注意

USB [TO HOST]端子にコンピューターを接続してお使いになる場合は、以下のことにご注意ください。正しく使われないと、コンピューターや楽器本体が停止(ハングアップ)し、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや楽器が停止した場合はアプリケーションやコンピューターを再起動したり、楽器の電源を入れ直してください。

#### 注記

- USBケーブルは、ABタイプのものご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。
- 楽器のUSB [TO HOST]端子とコンピューターとを接続する前に、コンピューターの省電力モード(サスペンド/スリープ/スタンバイ)を解除してください。
- 楽器の電源を入れる前に、USB [TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。
- 楽器の電源のオン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
  - すべてのアプリケーションを終了します。
  - 楽器からデータが送信されていないかを確認してください。鍵盤を弾いたりソングを再生させたりしても、楽器からデータが送信されます。
- 楽器の電源のオン/オフおよびUSBケーブルの抜き差しは6秒以上間隔を開けて行ってください。

この楽器は、「MIDI」(ミディ)という演奏情報に関する通信の規格に対応しており、コンピューターとUSBケーブルで接続することにより、鍵盤演奏(MIDIメッセージ)やソング/スタイルデータ(MIDIファイル)のやりとりができます。楽器とコンピューターとの接続方法などについて詳しくは、電子マニュアル(2ページ)「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。



## 演奏情報を送受信する

コンピューターとこの楽器を接続することにより、この楽器の演奏情報をコンピューターで活用したり、コンピューターから演奏情報を受信したり、この楽器で鳴らすことができます。演奏情報を送受信するには、楽器側でMIDIの各種設定をする必要があります。詳しくは「機能設定」の機能番号029～032(43ページ)をご覧ください。

### NOTE

- MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略で、電子楽器やコンピューターとの間で演奏情報をやりとりすることができる世界共通の規格です。詳しくはMIDI関連の書籍などをご覧ください。

## ミュージックソフトダウンローダーを使ってデータを送受信する

ヤマハのファイル転送用アプリケーション「Musicsoft Downloader」(ミュージックソフトダウンローダー)を使うと、楽器のバックアップデータなどをコンピューターとの間で送受信できます。詳しい操作手順は、2ページの電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」のファイル転送に関するページをご覧ください。

### ■この楽器とコンピューターとの間で送受信できる内容

ミュージックソフトダウンローダーを使って、楽器とコンピューターとの間で以下のデータを送受信できます。

- **ソングファイル：拡張子が.midのファイル(SMF Format0と1)**  
この楽器で録音したユーザーソング、ほかの楽器やコンピューターで作成したソングファイルをコンピューターと送受信できます。
- **スタイルファイル：拡張子が.styのファイル**  
この楽器にはスタイルファイルを作成する機能はありませんが、ほかの楽器やコンピューターで作成したスタイルファイルをコンピューターと送受信できます。
- **バックアップデータファイル：SEP-3000.BUP**  
バックアップデータ(57ページ)をミュージックソフトダウンローダーを使って、コンピューターに1つのファイルとして転送/保存ができます。必要に応じて、バックアップをとりましょう。保存したバックアップファイルは、また楽器に戻して設定を再現することができます。

※この楽器はUSBオーディオ通信に非対応です。

# バックアップと初期化

## バックアップデータ

以下のデータは楽器内に自動的にバックアップされるため、電源を切ってもデータは消えません。バックアップデータの内容を工場出荷時に戻したい場合は、次の「初期化」操作を行なってください。

### ■バックアップデータ

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>• レジストレーションメモリー</li><li>• チューニング</li><li>• ピッチベンド幅</li><li>• タッチレスポンス オン/オフ</li><li>• タッチ感度レベル</li><li>• マスターEQタイプ</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>• スプリットポイント</li><li>• スタイル音量</li><li>• ソング音量</li><li>• ボルタメントタイム</li><li>• フリーズモード オン/オフ</li></ul> |
|--|--|

### NOTE

- バックアップデータは、ミュージックソフトダウンロードャーを使ってコンピューターに保存できます(56ページ)。

上記バックアップデータに加えて、下記データも電源を切っても消えません。

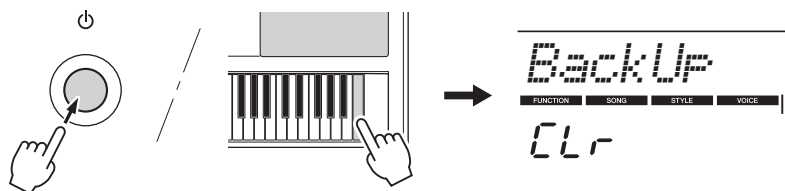
- ユーザーソング(楽器で録音されたソング)(ソング番号101~105)
- コンピューターやUSBフラッシュメモリーから読み込んだソング(ソング番号201~300)
- コンピューターやUSBフラッシュメモリーから読み込んだスタイル(スタイル番号161)

## 初期化

バックアップデータやコンピューターから読み込んだソング/スタイルデータを消去し、工場出荷時の設定内容に戻すことを「初期化」といいます。

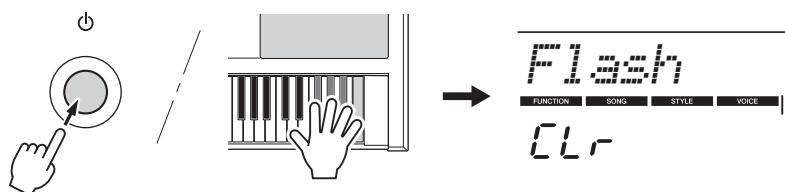
### バックアップデータを初期化する

バックアップデータを、すべて工場出荷時の内容に戻します。鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。「BackUp CLr」が表示されたら初期化完了です。



### ユーザーソングと、コンピューターなどから読み込んだソング/スタイルを消去する

ユーザーソングと、コンピューターやUSBフラッシュメモリーから読み込んだソング/スタイルを、内部メモリーから消去します。鍵盤の最高音(白鍵)と一番高い黒鍵3つを同時に押しながら[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。「Flash CLr」が表示されたら初期化完了です。



### 注記

- この操作により、購入した有料のデータも消去されてしまいます。消去したくないデータは必要に応じてコンピューターに保存しましょう。(「コンピューターとデータを送受信する」55ページをご覧ください)

# 音色リスト

## 最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は128音ですが、スタイルやソングなどを含めたすべての発音数の合計が128音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。128音以上になると、後着優先\*で発音します。

\*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

### NOTE

- ダンパーペダルやフットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離れたとき、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して鳴りつづけるものがあります。
- 音色番号201～210の音色を選ぶと、ハーモニ機能が自動的にオンになります。
- 音色番号の前に\*が付いている音色を選ぶと、デュアル機能が自動的にオンになります。

音色番号	音色名
<b>ストリングス1</b>	
1	ストリングス
2	ストリングアンサンブル
3	チェンバーストリングス
4	マルカートストリングス
*5	オーケストラストリングス
*6	オクターブストリングス
*7	トゥッティ
<b>ストリングス2</b>	
8	スローストリングス
9	トレモロストリングス
10	シンセストリングス
<b>バイオリン</b>	
11	バイオリン
12	ビオラ
13	チェロ
<b>ピチカート</b>	
14	ピチカートストリングス
*15	オクターブピチカートストリングス
<b>フルート</b>	
16	フルート
17	スイート！フルート
18	スイート！パンフルート
19	パンフルート
<b>リコーダー</b>	
20	リコーダー
21	ピッコロ
<b>オーボエ</b>	
22	オーボエ
23	イングリッシュホルン
24	木管アンサンブル
<b>ファゴット</b>	
25	ファゴット
*26	ファゴット&クラリネット
<b>クラリネット</b>	
27	オーケストラクラリネット
28	クラリネット
<b>サクソ</b>	
29	テナーサクソ
30	アルトサクソ
31	ソプラノサクソ
32	バリトンサクソ
33	スイート！ソプラノサクソ
34	スイート！テナーサクソ
35	フレッシュテナーサクソ
*36	アルトサクソ&テナーサクソ
37	サクソアンサンブル
<b>トランペット1</b>	
38	トランペット
39	スイート！トランペット
<b>トランペット2</b>	
40	ミュートトランペット
41	フリューゲルホルン
<b>トロンボーン</b>	
42	トロンボーン

音色番号	音色名
43	トロンボーンセクション
*44	トランペット&トロンボーン
<b>ブラス</b>	
45	ブラス
46	ブラスセクション
47	ビッグバンドブラス
48	メローホーン
*49	オーケストラブラス
50	オクターブブラス
*51	ジャズブラス
52	ファンキーブラス
53	シンセブラス
54	80年代風ブラス
55	テクノブラス
<b>ホルン</b>	
56	フレンチホルン
*57	オクターブフレンチホルン
<b>チューバ</b>	
58	チューバ
<b>コントラバス</b>	
59	コントラバス
60	アコースティックベース
<b>エレクトリックベース</b>	
61	フィンガーベース
62	ダイナミックエレクトリックベース
63	ピックベース
64	フレットレスベース
65	スラップベース
<b>ピアノ</b>	
66	ライブ！グランドピアノ
67	ライブ！ウオームグランドピアノ
68	アンビエントグランドピアノ
69	グランドピアノ
70	ブライトピアノ
*71	オクターブピアノ
72	ミディグランドピアノ
73	CP80
*74	ピアノ&ストリングス
75	ホンキートンクピアノ
76	ハーブシコード
*77	グランドハーブシコード
<b>エレクトリックピアノ</b>	
78	クール！ギャラクシーエレクトリックピアノ
79	ファンキーエレクトリックピアノ
80	DXモダンエレクトリックピアノ
81	ハイパータインズ
82	ビーナスエレクトリックピアノ
*83	エレクトリックピアノ&パッド
84	クラビ
<b>オルガン1</b>	
85	リードオルガン

音色番号	音色名
86	チャペルオルガン
87	パイプオルガン
*88	カセドラル
89	シアターオルガン
<b>オルガン2</b>	
90	クール！オルガン
91	クール！ローターオルガン
92	ジャズオルガン1
93	ジャズオルガン2
94	クリックオルガン
95	ブライトオルガン
96	ロックオルガン
97	パープルオルガン
98	16'+2'オルガン
99	16'+4'オルガン
<b>アコーディオン</b>	
100	トラディショナルアコーディオン
101	ミュゼットアコーディオン
102	バンドネオン
<b>ハーモニカ</b>	
103	ハーモニカ
104	モダンハーブ
<b>ギター</b>	
105	クラシックギター
106	フォークギター
107	ダイナミックナイロンギター
108	12弦ギター
<b>エレクトリックギター</b>	
109	クリーンギター
110	ジャズギター
111	オクターブギター
112	60年代風クリーンギター
113	ミュートギター
114	オーバードライブギター
115	ダイナミックオーバードライブギター
116	ディストーションギター
<b>オルゴール</b>	
117	オルゴール
118	チューブラーベル
119	チェレスタ
<b>マリンバ</b>	
120	マリンバ
121	シロフォン
122	ビブラフォン1
123	ビブラフォン2
<b>コーラス</b>	
124	コーラス
*125	グランドコーラス
126	ボーカルアンサンブル
127	ボックスフマーナ
128	エアコーラス
<b>パッド</b>	
129	ダイナミックチャイム
130	アナログパッド

音色番号	音色名
131	ショートレゾナンス
132	スィーヘブン
133	ドリームヘブン
134	シンビアント
135	ファンタジア
136	ベルパッド
137	ゼノンパッド
138	イクイノックス
139	ダークムーン
<b>シンセ</b>	
140	矩形波リード
141	ノコギリ波リード
142	テクノソーリード
143	RSシンク
144	アウンダーハイム
145	ボータートーン
146	ボイスリード
147	ファンキーリード
148	スターダスト
149	ブライトネス
150	アナログン
151	ファゴ
<b>シンセベース</b>	
152	シンセベース
153	DX100ベース
154	ファットローベース
155	ハイQベース
156	ダンスベース
<b>ティンパニ</b>	
157	ティンパニ
158	ハーブ
159	オーケストラヒット
<b>ワールド</b>	
160	三味線
161	琴
162	箏(ヒチリキ)
163	シタール
164	タンブーラ
165	タンブラ
166	ラバブ
167	ウード
168	ゴビチャント
169	大正琴
170	ダルシマー
171	カヌーン
172	ツィンパロン
173	サントゥール
174	チャナイ
175	ブーンギ
176	オカリナ
177	スチールドラム
178	パンジョー
179	中国キット1
180	中国キット2
181	インディアンキット1
182	インディアンキット2
183	アラビックキット

音色番号	音色名	音色番号	音色名	音色番号	音色名	音色番号	音色名
184	キューバンキット	244	クラビワウ	310	12弦ギター	378	トレモロストリングス
185	ドラムキット	245	ハーブシコード3	311	ナイロン&スチール弦ギター	379	スロートレモロストリングス
186	スタンダードキット1	246	バルスクラビ	312	スチール弦&ボディサウンド	380	サスベンスストリングス
187	スタンダードキット2	247	クラビ	313	マンドリン	381	ピチカートストリングス
188	パワーキット	248	クラビKSP	314	ジャズギター	382	オーケストラハーブ
189	ルームキット	249	ピアスクラビ	315	メローギター	383	ティンパニ
190	ロックキット	250	チェレスタ	316	ジャズアンプ	384	ストリングス1
191	ジャズキット	251	グロックンシュピール	317	クリーンギター	385	ステレオストリングス
192	ブラッシュキット	252	オルゴール1	318	コーラスギター	386	スローストリングス
193	シンフォニーキット	253	オルゴール2	319	ミュートギター	387	アルコストリングス
194	シロフォントニックキット	254	ビブラフォン	320	ファンクギター1	388	60'sストリングス
195	T8キット	255	ビブラフォンKSP	321	ミュートスチール弦ギター	389	オーケストラ
196	T9キット	256	ハードビブラフォン	322	ファンクギター2	390	オーケストラ2
197	アナログキット	257	マリンバ	323	ジャズマン	391	トレモロオーケストラ
198	ダンスキット	258	マリンバKSP	324	ジャズギタース	392	ペロシスティックベース
199	効果音/XG	259	サインマリンバ	325	オーバードライブギター	393	ストリングス2
200	ワンダーランドキット	260	バリトン	326	ギターピンチ	394	ステレオスローストリングス
201	SFXキット1	261	ログドラム	327	ディストーションギター	395	レガートストリングス
202	SFXキット2	262	シロフォン	328	フィードバックギター	396	ウォームストリングス
203	マリンバトレモロ	263	チューブラベル	329	フィードバックギター2	397	キングダム
204	シロフォントレモロ	264	チャーチベル	330	ギターハーモニクス	398	70'sストリングス
205	ティンパニトレモロ	265	ダルシマー2	331	ギターフィードバック	399	ストリングスアンサンブル3
206	スチールドラムトリル	266	カリヨン	332	ギターハーモニクス2	400	シンセストリングス1
207	マリンバトリル	267	ドローパーオルガン	333	アコースティックベース	401	レゾナントストリングス
208	シロフォントリル	268	デチューンドドローパーオルガン	334	VXアッパイトベース	402	シンセストリングス4
209	ピアノエコー	269	60'sドローパーオルガン1	335	フィンガーベース	403	シンセストリングス5
210	エレクトリックピアノエコー	270	60'sドローパーオルガン2	336	フィンガーダーク	404	シンセストリングス2
211	ソプラノサクセスエコー	271	70'sドローパーオルガン1	337	フレンジベース	405	クワイアア
212	テナーサクセスエコー	272	70'sドローパーオルガン2	338	ベース&ディストーションギター	406	ステレオクワイア
213	グランドピアノKSP	273	ドローパーオルガン3	339	フィンガースラップベース	407	メロークワイア
214	メローグランドピアノ	274	60'sドローパーオルガン3	340	フィンガーベース2	408	クワイアア2
215	ピアノストリングス	275	イーブンバー	341	モジュレーテッドベース	409	クワイアストリングス
216	ドリム	276	16+2'2_3オルガン	342	ピックベース	410	ボイスウー
217	ブライトピアノ	277	オルガンベース	343	ミュートピックベース	411	シンセボイス1
218	ブライトピアノKSP	278	70'sドローパーオルガン2	344	フレットレスベース	412	シンセボイス2
219	エレクトリックグランドピアノ	279	チージーオルガン	345	フレットレスベース2	413	コラール
220	EグランドピアノKSP	280	ドローパーオルガン3	346	フレットレスベース3	414	アナログボイス
221	デチューンドCP80	281	パーカッシブオルガン	347	フレットレスベース4	415	オーケストラヒット
222	レイヤードCP1	282	70'sパーカッシブオルガン	348	シンセフレットレス	416	オーケストラヒット2
223	レイヤードCP2	283	デチューンドパーカッシブ	349	スムースフレットレス	417	インバクト
224	ホンキートンクピアノ	284	ライトオルガン	350	スラップベース1	418	トランペット
225	ホンキートンクピアノKSP	285	パーカッシブオルガン2	351	レゾナントスラップ	419	トランペット2
226	エレクトリックピアノ1	286	ロータリーオルガン	352	パンチサムベース	420	ブライトトランペット
227	エレクトリックピアノ1KSP	287	スローロータリー	353	スラップベース2	421	ウォームトランペット
228	メローエレクトリックピアノ1	288	ファストロータリー	354	ペロシスティックベース	422	トロンボーン
229	コーラスエレクトリックピアノ1	289	チャーチオルガン	355	シンセベース1	423	トロンボーン2
230	ハードエレクトリックピアノ	290	チャーチオルガン3	356	シンセベース1ダーク	424	チューバ
231	VXエレクトリックピアノ1	291	チャーチオルガン2	357	ファストレゾナントベース	425	チューバ2
232	60'sエレクトリックピアノ1	292	ノートルダム	358	アシッドベース	426	ミュートトランペット
233	エレクトリックピアノ2	293	オルガンフルート	359	クラビベース	427	フレンチホルン
234	エレクトリックピアノ2KSP	294	トレモロオルガンフルート	360	テクノシンセベース	428	フレンチホルンソロ
235	コーラスエレクトリックピアノ2	295	リードオルガン	361	オービター	429	フレンチホルン2
236	DXエレビハード	296	パフオルガン	362	スクエアベース	430	ホルンオーケストラ
237	DXフェーズエレビ	297	アコーディオン	363	ラバーベース	431	ブラセクション
238	DX+アナログエレビ	298	イタリアンアコーディオン	364	ハマー	432	Tp & Tbセクション
239	DXコトエレクトリックピアノ	299	ハーモニカ	365	シンセベース2	433	ブラセクション2
240	VXエレクトリックピアノ2	300	ハーモニカ2	366	メロシンセベース	434	ハイブラス
241	ハーブシコード	301	タンゴアコーディオン	367	シェケンスドベース	435	メローブラス
242	ハーブシコードKSP	302	タンゴアコーディオン2	368	クリックシンセベース	436	シンセブラス1
243	ハーブシコード2	303	ナイロン弦ギター	369	シンセベース2ダーク	437	ジャックブラス
		304	ナイロン弦ギター2	370	スムースシンセベース	438	レゾナントシンセブラス
		305	ナイロン弦ギター3	371	モジュラーシンセベース	439	ポリブラス
		306	ペロシスティックギターハーモニクス	372	DXベース	440	シンセブラス3
		307	ウクレレ	373	エックスワイヤーベース	441	ジャンプブラス
		308	スチール弦ギター	374	バイオリン	442	アナログペロシスティックブラス1
		309	スチール弦ギター2	375	スローバイオリン	443	アナログブラス1
				376	チェロ	444	シンセブラス2
				377	コントラバス	445	ソフトブラス
						446	シンセブラス4

# 音色リスト

音色番号	音色名
447	クワイアブラス
448	アナログペロシティブラス2
449	アナログブラス2
450	ソプラノサククス
451	アルトサククス
452	サククスセクション
453	ハイパーアルトサククス
454	テナーサククス
455	ブレッシーテナーサククス
456	ソフトテナーサククス
457	テナーサククス2
458	バリトンサククス
459	オーボエ
460	イングリッシュホルン
461	バスーン
462	クラリネット
463	ピッコロ
464	フルート
465	リコーダー
466	パンフルート
467	ボトル
468	尺八
469	口笛
470	オカリナ
471	スクエアリード
472	スクエアリード2
473	LMスクエア
474	ハロー
475	シュラウド
476	メロー
477	ソロサイン
478	サインリード
479	ソートゥースリード
480	ソートゥースリード2
481	シックソートゥース
482	ダイナミックソートゥース
483	デジタルソートゥース
484	ビッグリード
485	ヘビーシンセ
486	ワスビーシンセ
487	パルスソートゥース
488	ドクターリード
489	ペロシティリード
490	シーケンスアナログ
491	カリオベリード
492	ビュアリード
493	チフリード
494	ルビー
495	チャランリード
496	ディストーションリード
497	ワイヤーリード
498	ボイスリード
499	シンセアー
500	ボックスリード
501	5度リード
502	ビッグファイブ
503	ベース&リード
504	ビッグ&ロー
505	ファット&パーキー
506	ソフトホワール
507	ニューエイジパッド
508	ファンタジー
509	ウォームパッド
510	シックパッド
511	ソフトパッド
512	サインパッド
513	ホルンパッド
514	ロータリーストリングス
515	ポリシンセパッド
516	ポリパッド80
517	クリックパッド

音色番号	音色名
518	アナログパッド
519	スクエアパッド
520	クワイアパッド
521	ヘブン
522	アイトピア
523	CCパッド
524	ボウドパッド
525	グレイシャ
526	グラスパッド
527	メタリックパッド
528	タインパッド
529	パンパッド
530	ハローパッド
531	スリープパッド
532	シュイマー
533	コンバージ
534	ボーラーパッド
535	セレスティアル
536	レイン
537	クラビパッド
538	ハーモレイン
539	アフリカンウィンド
540	カリブ
541	サウンドトラック
542	プロローグ
543	アンセストラル
544	クリスタル
545	シンセドラムコンプ
546	ポップコーン
547	タイニーベル
548	ラウンドグロックンシュビール
549	グロックンシュビールチャイム
550	クリアベル
551	コーラスベル
552	シンセマレット
553	ソフトクリスタル
554	ラウドグロックンシュビール
555	クリスマスベル
556	ビブラフォンベル
557	デジタルベル
558	エアベル
559	ベルハーブ
560	ガムリンバ
561	アトモスフィア
562	ウォームアトモスフィア
563	ハローリリース
564	ナイロンエレクトリックピアノ
565	ナイロンハーブ
566	ハーブボックス
567	アトモスフィアパッド
568	プラネット
569	ブライトネス
570	ファンタジーベル
571	スモーキー
572	ゴブリン
573	ゴブリンシンセ
574	クリーパー
575	リングパッド
576	リチュアル
577	トゥーヘブン
578	ナイト
579	グリズン
580	ベルクワイア
581	エコー
582	エコー2
583	エコーバン
584	エコーベル
585	ビッグバン
586	シンセピアノ

音色番号	音色名
587	クリエイション
588	スターダスト
589	レゾナント&バニング
590	サイエンスフィクション
591	スターズ
592	バンジョー
593	シタール2
594	デチューンドシタール
595	カリンバ
596	バグパイプ
597	フィドル
598	シャナイ2
599	ティンクルベル
600	ミュートバンジョー
601	ボナン
602	アルタイル
603	ガムラン
604	ステレオガムラン
605	ラマシンバル
606	アジアンベル
607	アゴゴ
608	スチールドラム
609	グラスパーカッション
610	タイベル
611	ウッドブロック
612	カスターネット
613	和太鼓
614	グランカッサ
615	メロディックタム
616	メロディックタム2
617	リアルタム
618	ロックタム
619	シンセドラム
620	アナログタム
621	エレクトロニックパーカッション
622	リバースシンバル
623	フレットノイズ
624	プレスノイズ
625	海辺
626	鳥のさえずり1
627	電話1
628	ヘリコプター
629	拍手
630	銃声
631	カッチングノイズ1
632	カッチングノイズ2
633	ストリングスラップ
634	フルートキークリック
635	雨
636	雷
637	風
638	せせらぎ
639	泡
640	フィード
641	犬
642	馬
643	鳥のさえずり2
644	マオウ
645	フォーンコール
646	ドアのきしみ
647	ドアを開める
648	スクラッチカット
649	スクラッチスプリット
650	ウィンドチャイム
651	電話2
652	イグニッション
653	タイヤ
654	レーシングカー
655	衝突
656	サイレン
657	列車

音色番号	音色名
658	ジェット機
659	スターシップ
660	バースト
661	ローラーコースター
662	サブマリン
663	笑い声
664	悲鳴
665	パンチ
666	心音
667	足音
668	マシンガン
669	レーザーガン
670	爆発
671	花火

# ドラムキットリスト

音色番号		185	179	180	181	182
Keyboard		スタンダードキット1	中国キット1	中国キット2	インディアンキット1	インディアンキット2
Note No.	Note					
25	C# 0	スルド ミュート				
26	D 0	スルド オープン				
27	D# 0	ハイキュー				インディアン ハンドクラップ
28	E 0	ウィップ スラップ				ダフリ オープン
29	F 0	スクラッチ H				ダフリ スラップ
30	F# 0	スクラッチ L				ダフリ リム
31	G 0	フィンガー スナップ				タフ オープン
32	G# 0	クリック ノイズ				タフ スラップ
33	A 0	メトロノーム クリック				タフリム
34	A# 0	メトロノーム ベル			ハテリ ロング	ハテリ ロング
35	B 0	シーク クリック L	ダ チャ		ハテリ ショート	ハテリ ショート
36	C 1	シーク クリック H	ダグ mp		バヤ ge	バヤ ge
37	C# 1	ブラッシュ タップ	ダグ リム		バヤ ke	バヤ ke
38	D 1	ブラッシュ スワール	ダグ f		バヤ ghe	バヤ ghe
39	D# 1	ブラッシュ スラップ	ダグ ハンド		バヤ ka	バヤ ka
40	E 1	ブラッシュ タップ スワール	ダグ ロール		タブラ na	タブラ na
41	F 1	スネア ロール	バイグ 4		タブラ tin	タブラ tin
42	F# 1	カスタ ネット	バイグ 4 ハイ		タブラバヤ dha	タブラバヤ dha
43	G 1	スネア ソフト	バイグ 3		タブラ tun	ドホル 1 オープン
44	G# 1	スティックス	バイグ 3 ハイ		タブラバヤ dhin	ドホル 1 スラップ
45	A 1	キック ソフト	バイグ 2		タブラ di	ドホル 1 ミュート
46	A# 1	オープン リム ショット	バイグ 2 ハイ		タブラバヤ dhe	ドホル 1 オープン スラップ
47	B 1	キック タイト	バイグ 1		タブラ ti	ドホル 1 ロール
48	C 2	キック	ルオ ハイ 1		タブラ ne	ダンディア ショート
49	C# 2	サイドスティック	ゴンガ バター		タブラ taran	ダンディア ロング
50	D 2	スネア	ジンルオ		タブラ tak	チュトゥキ
51	D# 2	ハンドクラップ	ルオ ハイ 2		チフリ	チフリ
52	E 2	スネア タイト	ルオ ミッドロー		カンジーラ オープン	カンジーラ オープン
53	F 2	フロアタム L	ルオ		カンジーラ スラップ	カンジーラ スラップ
54	F# 2	ハイハット クローズ	ジンルオ ロー		カンジーラ ミュート	カンジーラ ミュート
55	G 2	フロアタム H	ダ チャ		カンジーラ ベンドアップ	カンジーラ ベンドアップ
56	G# 2	ハイハット ペダル	ダ チャ エフェクト		カンジーラ ベンドダウン	カンジーラ ベンドダウン
57	A 2	ロータム	ゾンチャ		ドホラク オープン	ドホラク 1 オープン
58	A# 2	ハイハット オープン	シアオ チャ エフェクト		ドホラク ミュート	ドホラク 1 ミュート
59	B 2	ミッドタム L	シアオ チャ		ドホラク スラップ	ドホラク 1 スラップ
60	C 3	ミッドタム H	マンルオ ロー		ドホル オープン	ドホル 2 オープン
61	C# 3	クラッシュ シンバル 1	マンルオ ミッド		ドホル ミュート	ドホル 2 スラップ
62	D 3	ハイタム	クインク		ドホル スラップ	ドホル 2 リム
63	D# 3	ライド シンバル 1	フィンガー ベル		ドホル スライド	ムリダンガム na
64	E 3	チャイニーズ シンバル	ルオ ビッグ		ムリダンガム ノーマル	ムリダンガム din
65	F 3	ライド シンバル カップ	ム ヨーロ		ムリダンガム オープン	ムリダンガム ki
66	F# 3	タンバリン	ム ヨミッドロー		ムリダンガム ミュート	ムリダンガム ta
67	G 3	スラッシュ シンバル	ム ヨミッド		ムリダンガム スラップ	ムリダンガム チャップ
68	G# 3	カウベル	ム ヨハイ		ムリダンガム リム	ムリダンガム ロー クローズ
69	A 3	クラッシュ シンバル 2	ナンバン ジョー ル		チムタ オープン	ムリダンガム ロー オープン
70	A# 3	ビブラスラップ	ナンバン ジ		チムタ ノーマル	チムタ ノーマル
71	B 3	ライド シンバル 2	バン グ		チムタ リング	チムタ リング
72	C 4	ボンゴ H	バン		ドルキ オープン	ドルキ ハイ オープン
73	C# 4	ボンゴ L	バン グ ロール		ドルキ ミュート	ドルキ ハイ ミュート
74	D 4	コンガ H ミュート	京劇ボイス 1		ドルキ スラップ	ドルキ ロー オープン
75	D# 4	コンガ H オープン	京劇ボイス 2		ドルキ スライド	ドルキ ハイ スラップ
76	E 4	コンガ L	京劇ボイス 3		ドルキ リム	ドルキ ロー スライド
77	F 4	ティンバレス H	ユンルオ F4		コール オープン	コール オープン
78	F# 4	ティンバレス L	ユンルオ F#4		コール スライド	コール スライド
79	G 4	アゴゴ H	ユンルオ G4	ダグ ミュート	コール ミュート	コール ミュート
80	G# 4	アゴゴ L	ユンルオ G#4	ゾンチャ ミュート	マンジラ オープン	マンジラ オープン
81	A 4	カバサ	ユンルオ A4	ダグ ヘビー	マンジラ クローズ	マンジラ クローズ
82	A# 4	マラカス	ユンルオ A#4	ゾンチャ オープン	ジャンジ オープン	ジャンジ オープン
83	B 4	サンバ(ホイッスル) H	ユンルオ B4	バイグ ミドル	ジャンジ クローズ	ジャンジ クローズ
84	C 5	サンバ(ホイッスル) L	ユンルオ C5	バイグ ロー	モンディラ オープン	モンディラ オープン
85	C# 5	ギロ ショート	ユンルオ C#5	シアオチャ ミュート	モンディラ クローズ	モンディラ クローズ
86	D 5	ギロ ロング	ユンルオ D5	バンク	ムリダング オープン	インディアン バングラ スキャット 1
87	D# 5	クラブス	ユンルオ D#5	シアオチャ オープン	ムリダング ミュート	インディアン バングラ スキャット 2
88	E 5	ウッドブロック H	ユンルオ E5	バンジ	ムリダング リム	インディアン バングラ スキャット 3
89	F 5	ウッドブロック L	ユンルオ F5	ムヨロー	ムリダング スライド	インディアン バングラ スキャット 4
90	F# 5	クイーカー ミュート	ユンルオ F#5	ソルノオ ミュート	コモク ノーマル	コモク ノーマル
91	G 5	クイーカー オープン	ユンルオ G5	ムヨミッドロー	コモク ミュート	コモク ミュート
92	G# 5	トライアングル ミュート	ユンルオ G#5	ソルノオ オープン	コモク マルチタク	コモク マルチタク
93	A 5	トライアングル オープン	ユンルオ A5	ムヨミドル	マダル A2	タビル オープン
94	A# 5	シェイカー	ユンルオ A#5	シアオロオ オープン	マダル A#2	タビル スラップ
95	B 5	ジングルベル	ユンルオ B5	トライアングル オープン	マダル B2	タビル ミュート
96	C 6	ベルツリー	ユンルオ C6	トライアングル クローズ	マダル C3	カルタール
97	C# 6				マダル C#3	ドラク 2 オープン
98	D 6				マダル D3	ドラク 2 スライド
99	D# 6				マダル D#3	ドラク 2 リム 1
100	E 6				マダル E3	ドラク 2 リム 2
101	F 6				マダル F3	ドラク 2 リング
102	F# 6				マダル F#3	ドラク 2 スラップ
103	G 6				マダル G3	

：「スタンダードキット1」（音色番号185）と同じ内容であることを表します。

：発音しません。

# ドラムキットリスト

音色番号		183	184	186	187	188
Keyboard		アラビックキット	キューバンキット	スタンダードキット2	パワーキット	ルームキット
Note No.	Note					
25	C# 0	ザープバック m f				
26	D 0	ザープ トム f				
27	D# 0	ザープ エシャレー				
28	E 0	ザープウィッピング				
29	F 0	トムバク トム f				
30	F# 0	ネガレートム f				
31	G 0	トムバク バック f				
32	G# 0	ネガレー バック f				
33	A 0	トムバク スナッフ f				
34	A# 0	ネガレー ベラン f	コンガ H チップ			
35	B 0	トムバク トリル	コンガ H ヒール			
36	C 1	ハリシ クラップ 1	コンガ H オープン			
37	C# 1	アラビック ギルグータ オープン	コンガ H ミュート			
38	D 1	ハリシ クラップ 2	コンガ H スラップオープン			
39	D# 1	アラビック ギルグータ クローズ	コンガ H スラップ			
40	E 1	アラビック バンドクラップ	コンガ H スラップミュート			
41	F 1	タベル タク 1	コンガ L チップ			
42	F# 1	サगत 1	コンガ L ヒール			
43	G 1	タベル ドム	コンガ L オープン	スネア ソフト 2	スネア ソフト パワー 1	
44	G# 1	サगत 2	コンガ L ミュート			
45	A 1	タベル タク 2	コンガ L スラップオープン		キック アンビエント+	
46	A# 1	サगत 3	コンガ L スラップ	オープン リムショット H ショート	オープン リムショット パワー 1	
47	B 1	リク ティク 3	コンガ L スライド		キック パワー オープン	
48	C 2	リク ティク 2	ボンゴ H オープン 1フィンガー	キック ショート	キック パワー クローズ	
49	C# 2	リク ティク ハンド 1	ボンゴ H オープン 3フィンガー		サイドスティック パワー	
50	D 2	リク ティク 1	ボンゴ H リム	スネア ショート	スネア パワー	スネア スナッピー
51	D# 2	リク ティク ハンド 2	ボンゴ H チップ		バンドクラップ パワー	
52	E 2	リク ティク ハンド 3	ボンゴ H ヒール	スネア タイト H	スネア ラフ	スネア タイト スナッピー
53	F 2	リク ティシュ	ボンゴ H スラップ		パワー タム1	タム ルーム 1
54	F# 2	リク スノウジ 2	ボンゴ L オープン 1フィンガー		ハイハット クローズ パワー	
55	G 2	リク ロール	ボンゴ L オープン 3フィンガー		パワー タム2	タム ルーム 2
56	G# 2	リク スノウジ 1	ボンゴ L リム		ハイハット ペダル パワー	
57	A 2	リク サク	ボンゴ L チップ		パワー タム3	タム ルーム 3
58	A# 2	リク スノウジ 3	ボンゴ L ヒール		ハイハット オープン パワー	
59	B 2	リク スノウジ 4	ボンゴ L スラップ		パワー タム4	タム ルーム 4
60	C 3	リク タク 1	ティンパニル L オープン		パワー タム5	タム ルーム 5
61	C# 3	リク プラス 1			クラッシュシンバル アコースティック1	
62	D 3	リク タク 2			パワー タム6	タム ルーム 6
63	D# 3	リク プラス 2			ライドシンバル アコースティック1	
64	E 3	リク ドム			チャイニーズシンバル アコースティック	
65	F 3	カテム タク ドゥフ	バイラ L		ライドシンバル アコースティック	
66	F# 3	カテム ドム	ティンパニル H オープン			
67	G 3	カテム サク 1			スブラッシュシンバル アコースティック	
68	G# 3	カテム タク 1				
69	A 3	カテム サク 2			クラッシュシンバル アコースティック2	
70	A# 3	カテム タク 2				
71	B 3	ダホラ サク 2	バイラ H		ライドシンバル アコースティック2	
72	C 4	ダホラ サク 1	カウベル トップ			
73	C# 4	ダホラ タク 1				
74	D 4	ダホラ ドム				
75	D# 4	ダホラ タク 2				
76	E 4	タブラ ブロック	ギロ ショート			
77	F 4	タブラ ドム 2	ギロ ロング			
78	F# 4	タブラ リムロール				
79	G 4	タブラ タク フィンガー 4				
80	G# 4	タブラ タク トリル 1	タンバリン			
81	A 4	タブラ タク フィンガー 3				
82	A# 4	タブラ タク トリル 2				
83	B 4	タブラ タク フィンガー 2				
84	C 5	タブラ タク フィンガー 1	マラカス			
85	C# 5	タブラ ティク 2	シェーカー			
86	D 5	タブラ ティク 4	カバサ			
87	D# 5	タブラ ティク 3				
88	E 5	タブラ ティク 1				
89	F 5	タブラ タク 3				
90	F# 5	タブラ タク 1				
91	G 5	タブラ タク 4				
92	G# 5	タブラ タク 2				
93	A 5	タブラ サク 2				
94	A# 5	タブラ トレモロ				
95	B 5	タブラ サク 1				
96	C 6	タブラ ドム 1				
97	C# 6					
98	D 6					
99	D# 6					
100	E 6					
101	F 6					
102	F# 6					
103	G 6					

：「スタンダードキット1」（音色番号185）と同じ内容であることを表します。

：発音しません。

1

[illegible]

# ドラムキットリスト

音色番号	195	196	197	198	199	200
Keyboard Note No. Note	T9キット	アナログキット	ダンスキット	ワンダーランドキット	S F Xキット1	S F Xキット2
25 C# 0						
26 D 0						
27 D# 0						
28 E 0						
29 F 0						
30 F# 0						
31 G 0	スネア ドラム&ベース 1					
32 G# 0	キック ブレイク					
33 A 0	スネア ディストーション					
34 A# 0	キック テクノパワー					
35 B 0	キック ディストーション RM					
36 C 1	キック T9 2					
37 C# 1	スネア アナログ CR			レーザービーム	カッティング ノイズ 1	フォーン コール
38 D 1	スネア T9 5			レーザーショット	カッティング ノイズ 2	ドアのさしめ
39 D# 1	クラップ アナログ Sm			ウォーターフォーン		ドアを開める
40 E 1	スネア T9 ゲート 1			アウ	ストリング スラップ	スクラッチ カット
41 F 1	スネア ロック ロールディストーション	リバーシシバブル	リバーシシバブル	ミスタマリ		スクラッチ
42 F# 1	スネア T9 3	ハイキュー 2	ハイキュー 2	カミナリ		ウィンド チャイム
43 G 1	スネア T9 4	スネア ノイジー 4	スネア テクノ	アム		電話
44 G# 1	スネア T9 ゲート 2			ナミ		
45 A 1	キック T9 4	キック 3	キック テクノ Q	セセラギ		
46 A# 1	スネア T9 5			アシオト		
47 B 1	キック T9 1		リム ゲート	ドアノキシミ		
48 C 2	キック T9 3	キック アナログ ショート	キック テクノ L	ドアラシメル		
49 C# 2	スネア T9 リム	キック アナログ	キック テクノ	バスドラム		
50 D 2	スネア T9 1	サイドスティック アナログ	サイドスティック アナログ	オオダイコ		
51 D# 2	クラップ T9	スネア アナログ	スネア クラップ	タム2		
52 E 2	スネア T9 2			タム1		
53 F 2	タム T9 1	スネア アナログ 2	スネア ドライ	スネアドラム	フルート キークリック	イグニッション
54 F# 2	ハイハット クローズ T9	タム アナログ 1	タム アナログ 1	スネアロール		タイヤ
55 G 2	タム T9 2	ハイハット クローズ アナログ	ハイハット クローズ アナログ 3	スネア クローズ		レーシングカー
56 G# 2	ハイハット ベダル T9	タム アナログ 2	タム アナログ 2	シンバル		衝突
57 A 2	タム T9 3	ハイハット クローズ アナログ 2	ハイハット クローズ アナログ 4	ハイハットオープン		サイレン
58 A# 2	ハイハット オープン T9	タム アナログ 3	タム アナログ 3	タンバリン		列車
59 B 2	タム T9 4	ハイハット オープン アナログ	ハイハット オープン アナログ 2	フィンガー스ナップ		ジェット機
60 C 3	タム T9 5	タム アナログ 4	タム アナログ 4	カスターネット		スターシッパ
61 C# 3	クラッシュ T9	タム アナログ 5	タム アナログ 5	トライアングルミュート		バースト
62 D 3	タム T9 6	クラッシュ アナログ	クラッシュ アナログ	ウッドブロック L		ローラー コースター
63 D# 3	ライド T9	タム アナログ 6	タム アナログ 6	ウッドブロック H		サブマリ
64 E 3	チャイナシンバル			トライアングルオープン		
65 F 3	ライドシンバル カップ 2			ウッドブロック H		
66 F# 3	タンバリン RX5			ハンドクラップ		
67 G 3	クラッシュシンバル 3			ジングルベル		
68 G# 3	カウベル 1			ベルツリー		
69 A 3	クラッシュシンバル 4	カウベル アナログ	カウベル アナログ	アラームベル		
70 A# 3	カウベル T8			トレイン	雨	笑い声
71 B 3	ライドシンバル 3			クラクション 1	雷	悲鳴
72 C 4	コンガ T8 5			クラクション 2	風	パンチ
73 C# 4	コンガ T8 4			サイレン	せせらぎ	心音
74 D 4	コンガ ディップ			カーエンジン	泡	足音
75 D# 4	コンガ オープン スラップ	コンガ アナログ H	コンガ アナログ H	カークラッシュ	フィード	
76 E 4	コンガ オープン	コンガ アナログ M	コンガ アナログ M	ヘリコプター		
77 F 4		コンガ アナログ L	コンガ アナログ L	スターシッパ		
78 F# 4				ヒツジ		
79 G 4	アナログ クリック			ヤギ		
80 G# 4	コンガ T8 1			ウシ		
81 A 4				イナナキ		
82 A# 4	マラカス スルー			ウマ		
83 B 4	Fxガン 2	マラカス 2	マラカス 2	ライオン		
84 C 5	Fxガン 1			イヌ		
85 C# 5	スクラッチ H4			ネコ		
86 D 5	スクラッチ ダウン			ニワトリ	犬	マシンガン
87 D# 5	ハイキュー 3			フクロウ	馬	レーザーガン
88 E 5	ハイキュー 1			ムシ	鳥のさえずり	爆発
89 F 5	ハイキュー 2	クラブス 2	クラブス 2	カエル		花火
90 F# 5	スクラッチ H 3			サズリ 1		
91 G 5	スクラッチ L 3	スクラッチ H 2	スクラッチ H 2	サズリ 2		
92 G# 5		スクラッチ L 2	スクラッチ L 2	ハトケイ		
93 A 5				オオドケイ	マオウ	
94 A# 5	アナログ シェーカー			ベル		
95 B 5				デンフ		
96 C 6	ウィンドチャイム			カメラ		
97 C# 6	スネア ビッコロ		ターンテーブルノイズ	カジル		
98 D 6	スネア T8 5			ハクシュ		
99 D# 6	スネア ロック ロール					
100 E 6	スネア ブラッシュミュート					
101 F 6	キック ブリッパード					
102 F# 6	スネア ジャングル					
103 G 6	キック サスティン					

：「スタンダードキット1」（音色番号185）と同じ内容であることを表します。

：発音しません。

# スタイルリスト

スタイル番号	スタイル名
<b>8ビート</b>	
1	8ビート
2	8ビートモダン
3	60sギターポップ
4	8ビートアドリア
5	60s8ビート
6	オフビート
7	クール8ビート
8	バブルガムポップ
9	ブリティッシュポップスイング
<b>16ビート</b>	
10	16ビート
11	ポップシャッフル1
12	ポップシャッフル2
13	ギターポップ
14	16ビートアップテンポ
15	クールシャッフル
16	ジャズロック
17	ヒップホップライト
<b>ロック</b>	
18	ロック
19	ハードロック
20	60sロック
21	8ビートロック
22	ソウル
23	デトロイトポップ1
24	クロコツイスト
25	ロックンロール
26	デトロイトポップ2
27	ブギーウギー
28	ロックシャッフル
29	コンボブギー
30	モダンR&B
<b>ダンス</b>	
31	ダンス
32	ユーロトランス
33	イビサ
34	ハウスミュージック
35	スイングハウス
36	テクノポリス
37	クラブラテン
38	ガラージ1
39	ガラージ2
40	テクノパーティー
41	UKポップ
42	ヒップホップグループ
43	ヒップシャッフル
44	ヒップホップポップ
45	ニューヒップホップ
46	ポップR&B
47	トランスポップ
48	チャートポップ
49	ドリームダンス
50	70sディスコ1
51	70sディスコ2
52	ラテンディスコ
53	ディスコフィリー
54	サタデーナイト
55	ディスコチョコレート
56	ディスコハンズ
<b>バラード</b>	
57	バラード
58	ラブソング
59	オルガンバラード
60	ポップバラード
61	16ビートバラード1
62	16ビートバラード2
63	6-8オーケストラバラード

スタイル番号	スタイル名
<b>スローロック</b>	
64	スローロック
65	6-8スローロック
66	6-8ソウル
67	6-8ブルース
<b>スイング</b>	
68	スイング1
69	スイング2
70	ジャズクラブ
71	5ビート
72	ジャズバラード
73	デキシード
74	ラグタイム
75	アフロキューバン
76	チャールストン
77	オーケストラスイング
78	クリスマススイング
<b>ビッグバンド</b>	
79	ビッグバンドファスト
80	ビッグバンドミディアム
81	ビッグバンドバラード
82	ビッグバンドシャッフル
<b>カントリー</b>	
83	カントリー
84	カントリーポップ
85	カントリースイング
86	カントリーバラード
87	カントリー 2-4
88	カウボーイブギー
89	カントリーシャッフル
90	ブルークラス
<b>ワールド</b>	
91	ハワイアン
92	スコティッシュリール
93	チャイナ
94	キョウゲキ
95	インディポップ
96	ババングラ
97	ババヤン
98	サエディ
99	エマラティ
<b>マーチ</b>	
100	マーチ
101	ジャーマンマーチ
102	ポリカポップ
103	ポリカオーバークライナー
104	タランテラ
105	ショーチューン
106	ラーニング2-4
107	ラーニング4-4
108	ファン4-4
<b>6/8マーチ</b>	
109	6-8マーチ
110	ラーニング6-8
<b>ワルツ</b>	
111	ワルツ
112	ウィンナーワルツ
113	ギターセレナーデ
114	スイングワルツ
115	マリアッチワルツ
116	カントリーワルツ
117	ワルツオーバークライナー
118	ミュゼット
119	クリスマスワルツ
120	イングリッシュワルツ
121	ファン3-4
<b>ジャズワルツ</b>	
122	ジャズワルツ1
123	ジャズワルツ2

スタイル番号	スタイル名
<b>チャチャチャ</b>	
124	チャチャチャ
125	ルンバ
126	ギタールンバ
127	ルンバフラメンコ
128	ルンバアイランド
<b>マンボ</b>	
129	マンボ
130	ビギン
131	タンゴ
132	レゲエ
133	スローフォックス
134	フォックストロット
135	クイックステップ
136	ジャイブ
137	バンドブレ
<b>サンバ</b>	
138	サンバ
139	ブラジリアンサンバ
140	サルサ
141	ティファナ
142	ディスコラテン
<b>ボサノバ</b>	
143	ボサノバ
144	ポップボサ
<b>メトロノーム</b>	
145	メトロノーム4-4
146	メトロノーム3-4
147	メトロノーム2-4
<b>ピアニスト</b>	
148	ピアニスト
149	ストライド
150	ピアノブルース1
151	ピアノラグ
152	アルペジオ
153	ピアノスローロック
154	8ビートピアノバラード
155	ピアノスイング
156	ピアノジャズバラード
157	ピアノブルース2
158	ピアノブギー
159	ピアノジャズワルツ
160	ピアノロックンロール

# エフェクトタイプリスト

## リバーブタイプリスト

番号	タイプ	解説
01～03	Hall 1～3 (ホール1～3)	ホールで弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
04～05	Room 1～2 (ルーム1～2)	部屋で弾いたときのようなリバーブ(残響)がかかります。
06～07	Stage 1～2 (ステージ1～2)	舞台上の響きをシミュレートしたリバーブです。ソロ楽器に適した設定です。
08～10	Plate 1～3 (プレート1～3)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
11	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

## コーラスタイプリスト

番号	タイプ	解説
1～2	Chorus 1～2 (コーラス1～2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
3～4	Flanger 1～2 (フランジャー 1～2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
5	Off (オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。

## ハーモニータイプリスト

番号	タイプ	解説
01	Standard Duet	ハーモニータイプ01～04、07～08、13～14、24～26は、メロディー音(右手演奏)に対して、1音～3音のハーモニー音が付加されます。これらハーモニータイプは、スタイル動作時に自動伴奏鍵域でコードが指定された場合に機能します。また、コード情報を含んだソングを再生したときも機能します。
02	Standard Trio	
03	Block	
04	Country Duet	
05	Octave	
06	1+5	
07	Rock Duet	
08	Country Trio	
09	Trill 1/12 note	
10	Trill 1/16 note	
11	Trill 1/24 note	
12	Trill 1/32 note	
13	Strum	
14	Block2	ハーモニータイプ05～06、09～12、15～17、19～23は、メロディー音(右手演奏)に対して、同じ音程の音が繰り返されたり、遅れて鳴ったり、最後に押した2つの音どうしが交互に鳴ったりします。これらハーモニータイプは、スタイルのオン/ オフに関係なく効果がかけられますが、その効果のスピードはテンポの設定に従い、スタイルオン時にはリズムに同期します。3連符の設定も可能です。
15	Tremolo 1/8 note	
16	Tremolo 1/12 note	
17	Tremolo 1/16 note	
18	Dual Assign	
19	Tremolo 1/32 note	
20	Echo 1/4 note	
21	Echo 1/6 note	
22	Echo 1/8 note	
23	Echo 1/12 note	
24	Way Close 1	
25	Way Close 2	
26	Way Open	

# メッセージリスト

メッセージ	内容
<i>Comple.</i>	保存や削除などの実行が完了したときに表示されます。
<i>Can't Use</i>	同時に使えない機能を実行しようとした。ひとつの機能が終わってから操作してください。
<i>Disk Full</i>	楽器内蔵のフラッシュメモリまたはUSBフラッシュメモリの容量がいっぱいになったため、データを保存できません。別のUSBフラッシュメモリに保存するか、すでにあるデータを削除してから、改めて保存してください。
<i>Empty</i>	USBフラッシュメモリ内に、再生可能なソングファイルを認識できません。
<i>Error!</i>	USBフラッシュメモリとの通信中にエラーが発生しました。もしくはファイルにエラーがあります。USBフラッシュメモリが正しく接続されているのにこのメッセージが出る場合は、USBフラッシュメモリ自体が壊れているか、サポートされていない装置であることが考えられます。
<i>FlashErr</i>	楽器とコンピューターとの間で、データの送受信中にエラーが発生しました。
<i>Mem Full</i>	この楽器の演奏を録音中、録音容量がいっぱいになると表示されます。不要なソングを削除してメモリの空き容量を増やしてください。(37ページ)
<i>No data</i>	スタイル番号161を選んだ際、そこにスタイルデータがない場合に表示されます。
<i>no data</i>	USBフラッシュメモリに保存するデータが楽器の内部メモリにありません。
<i>no file</i>	USBフラッシュメモリ内に認識できるファイルがありません。
<i>NoMedia</i>	[USB]ボタンを押した際、USB端子にUSB装置が接続されていない、もしくは装置を認識しない場合に表示されます。
<i>Overwr?</i>	指定したファイル名のファイルが既にあり、操作を実行すると上書きされて、今あるデータが消えてしまう場合に表示されます。[+/YES]ボタンを押すと上書きが実行されます。操作をやめる場合は[-/NO]ボタンを押します。
	USB機器に過電流が流れたため、USB機器との通信を停止しました。USB機器をUSB [TO DEVICE]端子から抜き、楽器の電源を入れ直してください。
<i>Protect</i>	接続したUSBフラッシュメモリにはライトプロテクト(書き込み禁止)が設定されているため、書き込みまたはフォーマットができません。プロテクトを解除してから操作してください。
<i>Sure?</i>	操作の実行を確認するメッセージです。[+/YES]ボタンを押すと操作が実行されます。操作をやめる場合は[-/NO]ボタンを押します。
<i>Unformat</i>	フォーマットが必要なUSBフラッシュメモリが接続されました。この楽器で使うために、フォーマットを行ってください(54ページ)。
<i>Writing!</i>	データの保存中です。このメッセージ表示中は絶対に電源を切らないでください。データが失われます。
<i>LowMemo.</i>	内部メモリが少ない状態で、録音待機時に表示されます。録音操作をとめてください。録音が続くと、演奏データが保存されない場合があります。

# 困ったときは

現象	原因と解決方法
電源を入/切したとき、ポツンという音がある。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くで携帯電話を使っていますか？楽器の近くでは携帯電話の電源を切るか、楽器から離れてお使いください。
本体からびりつく音がしたり、音が歪む。	音量を最大にして使用したためです。[全体音量]ダイヤルを左回し、音量を下げ適切な位置でご使用ください。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	リアパネルの[ヘッドフォン/アウトプット]端子にヘッドフォンなどのプラグが接続されていませんか？この端子にプラグがさし込まれていると、楽器のスピーカーから音が出なくなります。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音、メトロノームが途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(128音)を越えています。デュアル音色やスプリット音色、スタイルやソング、メトロノームなどを含めて最大128音の範囲で鳴らすことができます。128音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっていませんか？確認してください。(29ページ) コード鍵域の設定は適切ですか？スプリットポイントを適切な位置に設定してください。(42ページ、機能番号018) 「ACMP ON」アイコンは表示されていますか？表示されていない場合は、もう一度[スタイル オン/オフ]ボタンを押してください。
[スタート/ストップ]ボタンを押しても、スタイル、ソングがスタートしない。	外部クロックの設定がオン(ON)に設定されていませんか？オフ(OFF)に設定してください。(43ページ、機能番号031)
[スタート/ストップ]ボタンを押しても、リズムが鳴らない。	一部のスタイルではリズムパートがないので、リズムが鳴りません。ただし、[スタイル オン/オフ]ボタンを押して「ACMP ON」が表示された状態で、コード鍵域でコードを押さえると、リズム以外のパートが再生されます。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。 (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)	フットスイッチの極性が逆転しています。この楽器の電源を切った状態でフットスイッチを接続し直し、フットスイッチを踏まずに電源を入れてください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
楽器に接続しているUSBフラッシュメモリー内のファイル名が画面に表示されない。 楽器の内部メモリーに読み込んだファイル名が画面に表示されない。	画面で表示できるソングファイルは500個まで、スタイルファイルは100個までに制限されています。ファイル数を制限内に収めてください。
画面に「Ovr」が点滅表示され、USB機器を認識しない。	USB機器に過電流が流れたため、USB機器との通信を停止しました。USB機器をUSB [TO DEVICE]端子から抜き、楽器の電源を入れ直してください。

# 仕様一覧

品名			電子ピアノ
サイズ/質量	寸法	幅×奥行き×高さ	1398 x 459 x 155 mm (本体) 1399 x 468 x 776 mm (スタンド付)
	質量		16.5kg (本体) 25kg (スタンド付) 29.5kg (スタンド+ペダル付)
操作子	鍵盤	鍵盤数	88
		鍵盤種	グレードハンマースタンダード (GHS) 鍵盤 黒鍵マット仕上げ
	ペダル	タッチ感度	○
		ペダル数	3：ダンパー (ハーフペダル対応)、ソフト、ソステヌート
	その他の操作子	ピッチベンドホイール	○
		ボルタメント	○
	ディスプレイ	タイプ	LCD
音源/音色		サイズ	90 x 40 mm (表示領域)
	パネル	言語	日本語
	音源	音源方式	AWMステレオサンプリング
	発音数	最大同時発音数	128
	プリセット	音色数	671 音色 (22ドラムキット/SEキット+10ハーモニー音色 +461XGlite音色)
対応フォーマット			GM/XGlite
効果	タイプ	リバーブ	10種類
		コーラス	4種類
		ハーモニー	26種類
		マスター EQ	3種類
	ファンクション	デュアル	○
		スプリット	○
		デュオ	○
パネルサステイン			○
伴奏スタイル	プリセット	スタイル数	160
		フィンガリング	マルチフィンガリング
		スタイルコントロール	スタイルオン/オフ、イントロ/エンディング、メイン/フィルインx2、シンクロスタート、シンクロストップ、スタート、ストップ
	外部スタイル		○
	その他特長	ワンタッチセッティング (OTS)	○
	対応フォーマット		SFF
録音/再生 (MIDIソング) *オーディオファイル非対応	録音	曲数	5
		トラック数	6
		データ容量	約30,000音符/1曲
	フォーマット	再生	SMF (フォーマット0、1)
		録音	SMF (フォーマット0)
ファンクション	レジストレーション	レジストレーションメモリー	32
	全体設定	テンポ	11~280
		トランスポーズ	-12~0~+12
		チューニング	427.0~442.0~453.0 Hz
メモリー / 接続端子	メモリー	内蔵メモリー	約1.48MB
		外付けメモリー	USBフラッシュメモリー (別売)
	接続端子	DC IN	12V
		ヘッドフォン/アウトプット	ステレオ標準フォーン端子
		サステインペダル	○
		エクスプレッションペダル	○
		ペダルユニット	○
		USB TO DEVICE	○ (x1)
USB TO HOST	○		
音響	アンプ出力		6W x 2
	スピーカー		12cm x 2 + 3cm x 2
電源部	電源	電源アダプター	PA-150B (またはヤマハ推奨の同等品)
	消費電力		20W (電源アダプター PA-150B使用時)
付属品	取扱説明書、かんたん操作ガイド1、2、電源アダプター、譜面立て、保証書、専用スタンド、ペダルユニット、イス、防振テープ		

※本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

# 索引

## A

A-Bリピート ..... 40

## M

MIDI ..... 43

MIDIリファレンス ..... 2

## P

PCモード ..... 43, 44

## U

USBフラッシュメモリー ..... 47

## イ

一時停止 ..... 39

移調 ..... 32, 39

イニシャルセンド ..... 43

イントロ ..... 31

## E

エクспRESSIONペダル ..... 20

エフェクト ..... 43

エフェクトタイプリスト ..... 66

演奏情報 ..... 56

エンディング ..... 31

## オ

音の高さ ..... 32

音色 ..... 21

音色リスト ..... 58

音量(スタイル) ..... 29

音量(スプリット音色) ..... 42

音量(全体) ..... 20

音量(ソング) ..... 40

音量(デュアル音色) ..... 42

音量(メイン音色) ..... 42

## カ

外部クロック ..... 43

外部スピーカー ..... 19

画面 ..... 18

かんたんスプリットボイス ..... 23

## キ

キーボードスタンド ..... 11

機能設定 ..... 41

機能リスト ..... 41

## コ

コード ..... 30

コーラス ..... 34

コーラストाइプ ..... 43

コーラストाइプリスト ..... 66

コーラスレベル ..... 42

効果音 ..... 23

困ったときは ..... 68

コンピューター ..... 2

コンピューターとデータを

送受信する ..... 55

## サ

削除(USBフラッシュメモリー

内のデータ) ..... 50, 53

削除(ユーザーソング) ..... 37

サステイン ..... 33

## シ

自動伴奏 ..... 27

仕様 ..... 69

消去(外部機器から読み込んだ

データ) ..... 57

消去(ユーザーソング) ..... 37

初期化 ..... 57

シンクロスタート ..... 31

シンクロストップ ..... 31

## ス

スタート ..... 31

スタイル ..... 27

スタイルファイル ..... 53

スタイルリスト ..... 65

ストップ ..... 31

スプリット ..... 25

スプリット音色の設定 ..... 42

スプリットポイント ..... 28

## ソ

ソング ..... 38

ソングクリア ..... 37

## タ

タッチ感度 ..... 32

タッチレスポンス ..... 32

## チ

チューニング ..... 32

## テ

デュアル ..... 24

デュアル音色の設定 ..... 42

デュオボイス ..... 22

電源 ..... 19, 20, 69

電子マニュアル ..... 2

テンポ(スタイル) ..... 29

テンポ(ソング) ..... 40

テンポロック ..... 41

## ト

トラック ..... 36

トラッククリア ..... 37

ドラムキット ..... 23

ドラムキットリスト ..... 61

トランスポーズ ..... 32, 39

## ハ

ハーモニー ..... 34

ハーモニー音量 ..... 43

ハーモニータイプ ..... 43

ハーモニータイプリスト ..... 66

バックアップ ..... 57

バックアップデータ ..... 57

早送り ..... 39

早戻し ..... 39

## ヒ

ピッチベンド ..... 33

ピッチベンド幅 ..... 41

## フ

ファイル操作 ..... 48

フォーマット(USBフラッシュ

メモリーの初期化) ..... 47, 54

フォーマット(音源、伴奏スタイル) ..... 9

付属品 ..... 2

フットスイッチ ..... 20

譜面立て ..... 2

フリーズモード ..... 43

## ヘ

ペダル ..... 11

ペダルユニット ..... 14, 19

ヘッドフォン ..... 19

## ホ

保証とアフターサービス ..... 71

保存(USBフラッシュ

メモリー) ..... 49, 51

ポルタメント ..... 32

ポルタメントタイム ..... 32, 41

## マ

マスター EQタイプ ..... 43

## ミ

ミュージックソフト

ダウンローダー ..... 56

ミュート(消音) ..... 39

## メ

メイン(スタイル) ..... 31

メイン音色の設定 ..... 42

メッセージリスト ..... 67

メトロノーム ..... 28

## ユ

ユーザーソング ..... 35

## ヨ

読み込み(USBフラッシュ

メモリー) ..... 49, 52, 53

## リ

リズム ..... 27

リバーブ ..... 33

リバーブタイプ ..... 33, 43

リバーブタイプリスト ..... 66

リバーブレベル ..... 42

## レ

レジストレーションメモリー ..... 45

## ロ

ローカル オン/オフ ..... 43

ロード→読み込み ..... 48

録音 ..... 35

## ワ

ワンダーランドキット ..... 26

ワンタッチセッティング ..... 23

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

## ●保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ●保証期間

保証書をご覧ください。

## ●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

### 有寿命部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

## ●補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## ●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

## ●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

#### ●ナビダイヤル (全国共通番号)



# 0570-012-808

※ 固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830 へおかけください。

#### ●受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

#### ●FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海) 03-5762-2125  
西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄) 06-6649-9340

## ◆修理品お持込み窓口

### 受付

月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX 03-5762-2125  
西日本サービスセンター 〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ニッセイビル7F FAX 06-6649-9340

\*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

# ヤマハ株式会社

キーボードの機能や取り扱いについては、ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-013-808**  
ナビダイヤル® ※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-411-4744 へおかけください。

営業時間：月曜日～金曜日 10：00～17：00

(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

## ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ

<http://jp.yamaha.com/>

学校向けホームページ「MUSIC PAL」

<http://jp.yamaha.com/musicpal/>

ヤマハ ダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp/>

株式会社ヤマハミュージックジャパン

楽器営業本部 マーケティング部 教育・アクセサリー課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

●都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などに変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください

Manual Development Group  
© 2016 Yamaha Corporation

2016年9月改訂 PO##\*- \*\*B0  
Printed in China

ZV33750